



令和 2 年 度

事 業 年 報

日本赤十字社青森県支部

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回赤十字国際会議において採択)

人 道 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間を尊重することを確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公 平 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦の場合を優先的に取り扱う。

中 立 すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時、いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教または思想的性格の闘争には参加しない。

独 立 赤十字は独立である。各国赤十字社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕 赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一 いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

は じ め に

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに地区・分区をはじめとする関係者の皆様の温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、現在も収束が見通せない状況が続いており、私達の暮らしや社会経済に大きな影響を及ぼしていますが、日本赤十字社では感染拡大を防ぐための啓発活動など、感染拡大防止のための対応を継続して行っているところです。

青森県支部におきましても、県内における感染拡大に伴い、献血者が減少し輸血用血液の確保に苦慮したほか、救急法の講習会などの活動が実施できない状況となりました。また、管内施設である八戸赤十字病院、青森県立はまなす医療療育センターでは、様々な制約がある中、感染防止対策に最大限努めながら運営を続けています。

さらには、令和2年7月の九州地方を中心とした豪雨災害に際しても、コロナ禍というこれまで経験したことのない状況下において、災害救護活動を実施しました。

令和3年3月で東日本大震災から10年が経ち、被災地では復興が進む中、今もなお苦しんでいる方々が多くいると聞いています。また近年、地震や大雨、台風等により大規模な自然災害が発生しており、今後もこうした災害の頻発化、被害の大規模化が懸念されています。

このような中、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を掲げる日本赤十字社の果たすべき役割はより一層重要となっており、これまで行ってきた災害への備えなどの必要性が変わることはありません。

当支部としては、厳しい環境下にあっても、支部、病院、血液センター、社会福祉施設が有する資源と機能を最大限に活用しながら、赤十字の特色を活かした活動を積極的に展開し、多くの県民の皆様から赤十字活動へのご賛同とご協力が得られるよう努めて参りますので、関係者の皆様におかれましては、更なるご理解とご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社青森県支部

目 次

巻頭言

I 赤十字事業

1. 災害救護事業	1
2. 看護師養成事業	9
3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業	10
4. 赤十字奉仕団	12
5. 青少年赤十字	19
6. 国際活動	27
7. 社会福祉事業	28
8. 医療事業	30
9. 血液事業	32

II 赤十字活動資金募集と赤十字思想の普及

10. 赤十字活動資金の募集状況並びに会員（社員）の現況	37
11. 赤十字思想の普及と広報活動	45
12. 青森県赤十字有功会	49

III 評議員会及び決算等

13. 評議員会及び監査	51
14. 令和2年度一般会計・特別会計決算報告	52
15. 支部役員・評議員	55

日本赤十字社長期ビジョン	56
--------------	----

赤十字の組織と機構	57
-----------	----

日本赤十字社青森県支部現勢	58
---------------	----

1. 災害救護事業

災害救護活動は、赤十字本来の使命に基づく活動であるばかりでなく、日本赤十字社には災害救助法や災害対策基本法等で国及び地方自治体の防災・救助業務への協力が義務付けられている。

当支部では、常に災害に備えて救護員を養成し、訓練、研修を重ねている。そのほか救護資材を整備し、救護体制を万全にするように努めている。

(1) 救護業務

① 災害に対する救援物資等の交付

県内で発生した火災（火災災害）、水害等の被災者に対して、見舞い品として毛布や緊急セットを交付基準に基づき交付している。

また、県内で発生した災害により死亡した県内在住の被災者には香花料を交付している。

② 災害救援物資交付状況

品 名	数 量
毛 布	209
緊急セット	107

(救援物資の市町村別交付状況は、4、5 ページ参照)

(2) 国内災害義援金受付状況

区 分	件 数	金 額
東日本大震災義援金	20件	187,145円
平成28年熊本地震災害義援金	7件	22,406円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	4件	3,442円
平成30年7月豪雨災害義援金	6件	8,306円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	5件	174,973円
令和元年8月豪雨災害義援金	14件	58,604円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	10件	71,948円
令和元年台風第19号災害義援金	17件	229,704円
令和2年7月豪雨災害義援金	109件	23,916,327円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	8件	127,753円
合 計	200件	24,800,608円

(3) 災害救護の体制及び救護班の訓練・研修

① 救護班の常備組織

災害が発生した場合、その規模に応じて災害地に救護班を派遣して被災者の医療救護にあたる。

当支部では、八戸赤十字病院に7個班及び支部、はまなす医療療育センター、血液センターの混成で1個班、計8個班を編成している。

令和2年度は、日赤本社の救護班編成基準（※）に基づいて、第1～7班は薬剤師、第8班は主事を加え、各班7人編成とした。

職 種 区 分	医 師 (班長) (人)	看護師長 (人)	看 護 師 (人)	主 事 (人)	薬剤師 or 助産師 (人)	計 (人)
1 個班の編成基準(※)	1	1	2	2	(1)	6(7)
常 備 要 員	8	8	16	17	7	56

② 各種訓練への参加状況

医療救護班等の訓練のため、次のとおり各種災害救護訓練へ参加した。

訓 練 名 称	場 所
令和2年度青森県国民保護共同図上訓練	青森市
日赤第1ブロック支部合同災害救護訓練（担当：岩手県支部）	W e b

※青森県総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため次年度へ延期された。

③ 赤十字救護班に対する研修の実施

近年、救護をめぐる概念や、方法論はめまぐるしく変化しており、特に災害発生直後に救出活動と連携して行われる医療活動であるDMAT活動については、日本赤十字社においても、DMATチームを養成し、これに取り組んでいるところである。

当支部においても、八戸赤十字病院が青森県よりDMAT指定医療機関としての指定を受け、DMATチーム3チームを保有している。

また、当支部では、現場でDMATチームと協働することを想定して、救護班養成のための研修・訓練カリキュラム（SPDT：Small Packaged Disaster Training）に基づく研修及び指導者養成研修を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各種研修を中止とした。

（４）災害救護装備について

① 県内市町村における救護装備

- ・天幕、担架、移動炊飯器の配置

当支部では、災害に備え、県内各地区・分区に天幕等を配置し、災害時には赤十字地域奉仕団が迅速に炊き出し等を実施できるようにしている。

令和2年度の日幕、担架、移動炊飯器の使用状況は次のとおりである。

装備品名	使用回数	主 たる 使 用 状 況
天 幕	8	防災訓練、避難訓練 ほか
担 架	2	避難訓練
移動炊飯器	9	奉仕団研修会、防災訓練 ほか

（天幕等の使用状況は4、5ページ参照）

・赤十字救援車「博愛号」の配置

当支部では、赤十字の理念とする「人道・博愛」の心を赤十字活動を通じて広く県民に浸透を図り、市町村において地域住民の安全と健康の保持増進、福祉の向上を目的として赤十字救援車両「博愛号」を県内市町村に配置している。

令和2年度の概要は以下のとおり。

車両配置先	配置月日	配置車両
平 川 市	7月17日	スズキ エブリイ JOIN 3型
風間浦村	8月24日	日 産 セレナ X エクストロニックCVT
新 郷 村	8月25日	日 産 セレナ X エクストロニックCVT
七 戸 町	8月31日	日 産 セレナ X エクストロニックCVT

(「博愛号」の使用状況は6、7ページ参照)



写真は平川市役所での配置式の様子
平川市の要望により軽貨物自動車の配置を行った。
車種は「スズキ エブリイ JOIN 3型」

写真は新郷村役場での配置式の様子
工藤副支部長からレプリカキーを受けとる櫻井分区長。
車種は「日産 セレナ X エクストロニックCVT」



令和2年度 災害救援物資の交付状況及び天幕等の使用状況表

区 分 市町村名		災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考
		り 災 世帯数	被災 者数	火災		風水害	毛布	緊 急 セツト	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
				全焼	半焼									
市	青 森 市													
	青 森 市	25	48	15	8	0	37	22	25,000	0	0	0	0	
	青森市浪岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	0	
	弘 前 市	24	52	10	0	14	48	24	15,000	0	0	0	0	炊飯器 4器
	八 戸 市	5	7	4	1	0	4	2	0	－	－	－	1	炊飯器 2器
	黒 石 市	5	11	4	1	0	11	6	0	0	0	0	0	
	五所川原市													
	五所川原市	3	13	3	0	0	13	4	0	0	－	－	2	
	五所川原市金木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	1	
	五所川原市市浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	0	
	十 和 田 市	6	9	4	2	0	7	6	10,000	0	－	－	0	炊飯器 2器
	三 沢 市	6	14	6	0	0	14	6	0	1	－	－	0	
	む つ 市													
	む つ 市	6	10	1	5	0	9	5	5,000	0	－	－	0	炊飯器 2器
	むつ市川内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	むつ市大畑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	むつ市脇野沢	1	3	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	
	つ が る 市	3	6	3	0	0	6	3	0	0	－	－	0	炊飯器 5器
	平 川 市	2	6	2	0	0	6	3	0	0	－	－	0	炊飯器 3器
市 計		86	179	53	17	14	158	82	55,000	1	0	0	4	
東地区	平 内 町	1	6	1	0	0	6	2	15,000	0	0	0	0	
	外ヶ浜町	1	1	1	0	0	1	1	0	0	－	－	0	炊飯器 3器
	今 別 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	0	
	蓬 田 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	0	
西地区	鰺ヶ沢町	2	2	2	0	0	0	0	10,000	－	－	－	0	
	深 浦 町	1	4	1	0	0	4	1	0	0	－	－	0	炊飯器 2器
中地区	西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	板 柳 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南地区	藤 崎 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	炊飯器 2器
	大 鰐 町	3	9	3	0	0	9	3	5,000	0	0	0	0	
	田舎館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北地区	中 泊 町	3	4	3	0	0	4	3	0	2	0	0	2	
	鶴 田 町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
上北地区	野辺地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	七 戸 町	2	8	2	0	0	8	3	0	0	0	0	0	
	六 戸 町	2	4	1	1	0	4	2	0	0	0	0	0	炊飯器 2器
	横 浜 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	0	
	東 北 町	2	4	2	0	0	4	2	0	0	0	0	0	炊飯器 2器
	六ヶ所村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

区 分 市町村名		災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考
		り 災 世帯数	被災 者数	火災		風水害	毛布	緊 急 セッ	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
				全焼	半焼									
下北地区	大 間 町	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	0	
	東 通 村	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	炊飯器 2 器
	風 間 浦 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	0	
	佐 井 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	0	
三戸地区	三 戸 町	2	2	2	0	0	2	2	0	1	0	0	0	
	五 戸 町	2	5	0	0	0	4	2	5,000	0	0	0	0	炊飯器 2 器
	田 子 町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	－	0	
	南 部 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	炊飯器 3 器
	階 上 町	3	4	2	1	0	4	3	0	0	－	－	1	
	新 郷 村	1	1	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	
	おいらせ町	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	0	炊飯器 2 器
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
町 村 計		25	54	21	2	0	51	25	35,000	7	2	0	5	
合 計		111	233	74	19	14	209	107	90,000	8	2	0	9	

令和2年度 赤十字救援車「博愛号」使用状況調

地区区分名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
市	青 森 市				
	青 森 市	H29	4,664	19,861	
	青森市浪岡	-	-	-	H29 廃止
	弘 前 市	H11	2,390	24,026	
		-	-	-	R 2 廃止
	八 戸 市	H12	4,421	136,384	
		H15	1,369	76,625	
	黒 石 市	H17	5,815	108,136	
	五 所 川 原 市				
	五所川原市	H30	2,572	11,632	
	五所川原市金木	H14	873	148,634	
	五所川原市市浦	H15	787	129,681	
	十 和 田 市	-	-	-	H28 廃止
	三 沢 市	H17	7,887	105,664	
		R元	3,681	9,178	
	む っ 市				
	む っ 市	H18	1,599	153,339	
	むつ市川内	H 6	350	157,911	
	むつ市大畑	H 9	1,331	133,626	
	むつ市脇野沢	H17	4,497	113,844	
	つ が る 市	H15	5,569	191,577	
		H16	9,252	144,079	
		H11	2,418	102,078	
	平 川 市	R 2	3,037	3,037	
市 計			62,512	1,769,312	
東地区	平 内 町	H29	4,411	27,376	
	外ヶ浜町	H16	3,215	120,512	
	今 別 町	H28	5,110	25,802	
	蓬 田 村	-	-	-	R 2 廃止
		R元	4,337	9,613	
西地区	鰺ヶ沢町	H15	2,470	134,793	
	深 浦 町	H29	9,529	53,303	
中地区	西 目 屋 村	-	-	-	H25 廃止
	板 柳 町	H15	2,722	100,451	
南地区	藤 崎 町	R元	2,687	7,023	
	大 鰐 町	-	-	-	R 2 廃止
	田 舎 館 村	H30	1,483	7,027	

地区分区名		更新年度	当該年度 走行キ口数	延走行キ口数	備 考
北地区	中 泊 町	H28	4,858	31,672	
		H12	1,952	216,643	
	鶴 田 町	H30	4,479	18,992	
上北地区	野 辺 地 町	H20	3,743	71,320	
	七 戸 町	R 2	2,997	2,997	
	六 戸 町	H19	6,396	196,633	
	横 浜 町	H15	5,773	29,353	
	東 北 町	H 9	800	118,013	
		H17	4,873	85,364	
	六ヶ所村	H29	8,209	47,774	
下北地区	大 間 町	H19	2,592	129,628	
	東 通 村	H21	7,402	141,404	
	風 間 浦 村	R 2	508	508	
	佐 井 村	R元	5,513	13,087	
三戸地区	三 戸 町	H16	4,225	167,610	
	五 戸 町	H21	2,779	138,111	
	田 子 町	H28	3,859	25,619	
	南 部 町	H28	6,506	37,868	
		-	-	-	R 2 廃止
	階 上 町	H20	3,400	98,201	
	新 郷 村	H16	7,228	202,634	
		R 2	3,374	3,374	
	おいらせ町	H17	5,198	225,272	
		H18	2,769	125,769	
町 村 計			135,397	2,613,746	
合 計			197,909	4,383,058	

災害救護活動用 救護装備・資機材の現有保管状況

項 目		支 部	八戸赤十字病院	合 計
車両		4	2	6
医療セット		0	2	2
携帯医療セット		1	0	1
テント	エアテント	2	1	3
	ドラッシュ テント	3	1	4
	その他	10	1	11
担架		30	8	38
折畳寝台		30	5	35
発電機		8	2	10
投光器		12	0	12
浄水機		1	0	1
衛星電話		2	4	6
災害時優先 電話	固定電話	2	2	4
	携帯電話	3	20	23

2. 看護師養成事業

日本赤十字社では赤十字の理念に基づいた看護が実践できるよう、看護教育を行っている。また、このような理念に基づき、地域医療はもとより、国内外の災害救援の現場で即戦力として活躍できるような質の高い看護師を養成するべく、各都道府県支部では看護師養成事業を実施しており、当支部では、日本赤十字秋田看護大学において看護師の養成を行っている。

養成された学生は、卒業後に八戸赤十字病院へ勤務しつつ訓練を重ね、災害時に災害救護要員として医療救護班に編入される。

令和2年度の学年別養成者は次のとおりである

赤十字看護教育施設	学 年	人 数
日本赤十字秋田看護大学	1 年	2 名
	2 年	2 名
	3 年	2 名
	4 年	2 名
計	8 名	

3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業

講習普及事業においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全社的に令和2年2月28日から同年5月末まで講習の開催を延期又は中止する措置を講じた。

その後、同年5月25日に政府による緊急事態宣言が全面的に解除されたことに伴い、同年6月以降は、一部、実技の制限等を設け、感染状況や活動制限措置等に配慮しながら、養成講習を除く各種講習普及を行った。

(1) 講習会実施状況

① 救急法

短期講習については、日常生活における事故の防止、手当の基本、心肺蘇生法等の短期講習を人と人が接触しない等の制限のもと実施した。

基礎講習については、暫定措置が定められてから下記のとおり実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
基礎講習	1	4	4	0
救急員養成講習	0	0	0	0
短期講習	28	817	0	0
計	29	821	4	0

② 水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るために、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習を人と人が接触しない等の実技の制限のもと実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
救助員Ⅰ養成講習	0	0	0	0
救助員Ⅱ養成講習	0	0	0	0
短期講習	14	401	0	0
計	14	401	0	0

③ 幼児安全法

こどもを大切に育てるため、乳児期に起こりやすい事故とその予防、手当の方法、かかりやすい病気と看病の仕方などの知識と技術を学ぶ講習を人と人が接触しない等の実技の制限のもと実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
支援員養成講習	0	0	0	0
短期講習 (総数)	1	27	0	0
計	1	27	0	0

(2) 救急法等指導員在籍状況

各講習会の指導にあたる指導員の在籍状況は次のとおりである。

区 分	赤十字職員		ボランティア (人)	合 計 (人)
	支部 (人)	病院 (人)		
救 急 法	9	14	64	87
水 上 安 全 法	0	1	29	30
雪 上 安 全 法	0	0	0	0
健康生活支援講習	0	5	0	5
幼 児 安 全 法	1	4	6	11

(令和3年3月31日現在)

(3) 講習普及事業における特色ある事業

例年青森県高等学校総合文化祭の赤十字部門で行われる「救急法コンクール」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止された。



感染防止対策を図り講習指導にあたる指導員

4. 赤十字奉仕団

県内の赤十字奉仕団は、各市町村に組織されている地域赤十字奉仕団と、支部直轄の青年・特殊赤十字奉仕団で組織され、総勢9,000名以上の団員で構成されている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動が制限されたが、マスクの作製や感染症に対応した防災訓練など、コロナ禍のニーズを汲み取った活動をする奉仕団が多く見られた。なお、令和2年度は下記のテーマ・方針のもと各種活動に取り組んだ。

(1) 赤十字奉仕団活動テーマ

共に生きる喜びを分かちあう赤十字奉仕団活動
——地域と連携し防災・減災を普及しよう——

(2) 赤十字奉仕団育成強化方針

赤十字奉仕団は、赤十字の基本理念である「人道」の実現を第一の使命として、戦後まもなく全国各地に結成され、身近な地域社会においてボランティア活動を実践することを目的とし、日本赤十字社を支える大きな力として赤十字事業の推進にあたってきた。

近年、地震や大雨、台風等の自然災害の多発化や被害の大規模化により、被災者支援のためのボランティアに寄せられる期待は高まっている。

一方、自助を基盤とした地域コミュニティでの防災・減災への取り組みが重要視されており、その一環として、赤十字奉仕団としても平時から地域住民や行政、各種団体等との連携を図ることが求められている。

また、少子高齢化社会において、赤十字奉仕団として安定的かつ継続的な社会活動の推進や、より良い地域づくりのための一助となるべく、誰もが参加しやすいボランティア環境を整備する必要がある。

これまで培ってきた知識や経験、赤十字の強みである組織力を十分に生かし、主体的な奉仕団活動の促進と、災害時における連携強化を図っていく。

(3) 赤十字奉仕団重点施策

1. 主体的な赤十字奉仕団活動に向けた体制の強化
2. 災害時の活動への備えの強化
3. 地域との連携と協働、他ボランティア団体や奉仕団相互、青少年（こども）赤十字等との交流促進
4. 広報活動の充実
5. 赤十字奉仕団員の意識を高めるための研修の充実
6. 赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動への協力

(4) 赤十字奉仕団組織の状況について（令和3年3月31日現在）

① 令和2年度末時点の組織の状況

	団 数	分団数	団 員 数		合 計
			男 性	女 性	
地 域 奉 仕 団	47	220	1,310	7,163	8,473
青 年 奉 仕 団	3	0	42	118	160
特 殊 奉 仕 団	9	25	386	313	699
合 計	59	245	1,738	7,594	9,332

② 令和2年度における本団等の結成及び解団の状況

「結成」

奉仕団名	分団名	結成年月日
なし		

「解団」

奉仕団名	分団名	解団年月日
青森県献血推進赤十字奉仕団	—	令和2年7月9日付

③ 組織の状況の推移

	団 数	分団数	団 員 数		合 計	備 考
			男 性	女 性		
令和2年度	59	245	1,738	7,594	9,332	
平成26年度	61	286	2,324	9,205	11,529	過去3回の一斉登録の年
平成22年度	62	307	2,717	11,729	14,446	
平成18年度	73	353	3,201	13,888	17,089	
昭和53年度	83	353	—	—	28,031	地域奉仕団全市町村結成の年

(5) 赤十字奉仕団組織現況 (令和3年3月31日現在)

① 地域奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
市	青 森 市	S 33. 9. 9	内 海 貞 子	5	7	9	146	155	町会有志 市内有志
	青森市浪岡分区	S 34. 9. 30	小 倉 保 英	0	0	17	126	143	民生委員 保健協力員
	弘 前 市	H 20. 4. 1	小 柳 紀八郎	16	72	201	967	1,168	婦人有志 町会有志
	黒 石 市	S 33. 5. 20	北 山 リ ッ	4	0	0	191	191	連合婦人会
	五所川原市	S 33. 9. 15	小 野 慶 子	7	4	0	423	423	連合婦人会 市民有志
	金 木 町	S 50. 3. 27	外 崎 れい子	5	0	0	152	152	連合婦人会
	市 浦	S 51. 4. 30	木津谷 清 蔵	5	0	2	132	134	行政連絡員 婦人会
	十和田市	H 17. 1. 1	澤 内 正 志	9	12	149	172	321	婦人・町内有志
	三 沢 市	S 50. 7. 12	沼 田 弘 子	3	12	3	83	86	婦人有志・市民有志
	む つ 市	S 49. 3. 30	海老名 進	6	0	25	118	143	町会有志 婦人会
	むつ市川内	S 50. 2. 1	石 倉 司	0	8	2	219	221	連合婦人会 町内有志
	むつ市脇野沢	S 50. 6. 28	山 崎 輝美子	8	0	0	102	102	連合婦人会
	むつ市大畑分区	S 50. 3. 24	伝 法 百合子	6	0	2	115	117	連合婦人会他
	つ が る 市	H 18. 4. 1	吉 田 博 身	5	15	96	440	536	民生委員 婦人会 行政連絡員
	平川市平賀	S 52. 1. 27	小笠原 勝 則	5	0	26	103	129	ボランティアグループ
	平川市尾上	S 33. 9. 19	斎 藤 弘 子	6	0	0	65	65	連合婦人会
	計 16団			90	130	532	3,554	4,086	
東地区	平 内 町	S 48. 10. 9	三津谷 志津子	3	0	0	116	116	婦人会
	外ヶ浜町	H 17. 4. 1	高 森 キクエ	3	16	33	329	362	婦人会 町内有志
	今 別 町	S 33. 9. 5	阿 部 和 江	7	0	0	48	48	連合婦人会 婦人会OB 町内有志
	蓬 田 村	S 38. 9. 23	小 野 富美子	3	0	0	45	45	連合婦人会 婦人有志
	計 4団			16	16	33	538	571	
西地区	鯡ヶ沢町	S 53. 8. 11	澤 田 賢 治	6	0	38	199	237	民生委員 町内有志 婦人会
	深 浦 町	H 18. 4. 1	堀 内 カ ッ	12	0	10	180	190	民生委員 連合婦人会
	計 2団			18	0	48	379	427	
中南地区	西目屋村	S 53. 6. 28	三 上 文 子	3	0	0	44	44	民生委員 連合婦人会 食生活改善委員 老人C連合会
	板 柳 町	S 51. 11. 30	米 澤 ノブ子	0	0	0	21	21	婦人・町内有志
	藤 崎 町	H 18. 4. 1	中 西 み き	2	0	0	147	147	婦人会
	大 鰐 町	S 36. 10. 13	工 藤 幸 子	3	0	0	51	51	婦人有志
	田舎館村	S 51. 8. 9	工 藤 泰 子	0	0	12	72	84	民生委員 保健協力員
	計 5団			8	0	12	335	347	
北地区	鶴 田 町	S 49. 4. 1	宮 本 弘 子	2	0	0	28	28	婦人会
	中泊町分区中里	S 53. 9. 1	川 島 久 幸	4	0	13	199	212	民生委員、婦人会
	中泊町分区小泊	S 36. 10. 13	秋 元 英 子	3	0	5	136	141	婦人会 村内有志
	計 3団			9	0	18	363	381	

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
上北地区	野 辺 地 町	S 33. 9. 1	太 田 富 江	4	0	0	76	76	連合婦人会
	七 戸 町	H21. 4. 1	盛 田 恵津子	2	0	0	66	66	民生委員 更生保護女性会 手話サークル 婦人有志
	六 戸 町	S 50.12. 1	佐 藤 喜久男	0	0	2	21	23	婦人会有志
	横 浜 町	S 50. 2.14	竹 田 礼 子	4	0	8	57	65	民生委員 ボランティアグループ
	東 北 町	H17.12.15	原 子 スワ子	0	0	0	40	40	婦人会 町内有志
	六ヶ所村	S 51.12.24	三 戸 秀 子	0	0	5	115	120	子供会世話人 青年・婦人会有志
	計 6団			10	0	15	375	390	
下北地区	大 間 町	S 52. 2.10	千 葉 良 司	2	0	4	73	77	婦人会
	東 通 村	S 51. 7. 5	伊 藤 貢 子	6	0	0	80	80	連合婦人会
	風間浦村	S 53. 1.28	原 子 恒 子	4	0	0	93	93	連合婦人会
	佐 井 村	S 36.10.13	内 藤 要	15	0	163	214	377	婦人会有志 他
	計 4団			27	0	167	460	627	
三戸地区	三 戸 町	S 49. 9. 7	藤 村 立 夫	2	0	17	61	78	民生委員 婦人会
	五 戸 町	H16. 7. 1	川 崎 由希子	9	0	1	164	165	連合婦人会
	田 子 町	S 50. 7.21	川 村 武 司	4	56	329	247	576	老人クラブ 自治会 婦人会 民生委員
	南 部 町	H18. 4. 1	新井山 美智子	11	7	108	378	486	民生委員 老人クラブ 婦人会 母の会 有志
	階 上 町	S 36.10.13	山 内 良 子	3	13	1	48	49	有志
	新 郷 村	S 50. 2.27	佐 藤 久美子	4	0	0	49	49	自治会代表 婦人会
	おいらせ町	H18. 4. 1	吉 田 長 一	9	0	29	212	241	民生委員 老人クラブ 有志
	計 7団			42	76	485	1,159	1,644	
合計 47団				220	222	1,310	7,163	8,473	

※地域奉仕団の地区区分は、青森県行政機関設置条例に定める地域県民局（地域健康福祉部）の所管に基づいているため板柳町が中南地区、おいらせ町が三戸地区となっている。



【子ども達に炊き出しを教える奉仕団員】（金木町赤十字奉仕団）

② 特別奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班数	男	女	計	備 考
青年奉仕団	平賀	S 41. 2. 14	長 浜 貴 弘	0	0	0	0	0	休団
	佐井村	S 56. 4. 1	田 中 伸 弥	0	0	22	13	35	
	木浪学園赤十字ボランティア	H 25. 6. 25	工 藤 さくら	0	0	20	105	125	
	計 3 団			0	0	42	118	160	
特殊奉仕団	点訳・音訳・デイズ編集	S 44. 1. 19	辻 村 澄 子	7	3	14	162	176	
	水上安全法	S 37. 7. 25	江 良 直 志	0	0	17	17	34	
	救急法	S 44. 11. 12	小 寺 芳 人	5	0	49	36	85	
	アマチュア無線	S 47. 5. 21	佐 藤 眸	7	0	93	2	95	
	碓ヶ関家庭看護法	S 52. 4. 8	大 川 富 子	0	0	3	22	25	
	黒石市家庭看護法	S 57. 3. 1	高 橋 チ ヨ	0	0	0	18	18	
	岩木山パトロール隊	S 59. 4. 29	一 戸 繁 輝	0	0	48	4	52	
	支部家庭看護法	S 61. 11. 18	山 本 初 枝	0	0	0	15	15	
	青森県青少年賛助	H 14. 7. 25	佐 藤 光 則	6	0	162	37	199	
	計 9 団			25	3	386	313	699	

(6) 令和2年度赤十字奉仕団指導講師名簿

担当地区	氏 名	
東青地区	工 藤 耕 弘	湯 沢 富 雄
西北五地区	小田川 修 三	野 呂 良 悦
中弘南黒地区	山 本 仁 志	五十嵐 敬 昌
上十三地区	小比類巻 武年	河 島 靖 岳
むつ下北地区	吉 田 寛	田 嶋 節 夫
三八地区	佐 藤 光 則	中 村 正

令和2年度 赤十字奉仕団関係実施状況（日赤本社・支部ほか）

月 日	行 事 名	開催場所等
4月21日	赤十字奉仕団支部委員会（県下委員長会議）	文書審議
5月16日～17日	青年赤十字奉仕団全国協議会	青森県支部（Web）
6月6日～7日	青年赤十字奉仕団第1ブロック協議会	文書審議
11月17日	郡市地区・町村分区関係者会議（青森会場）	青森県支部
18日	郡市地区・町村分区関係者会議（五所川原会場）	五所川原市中央公民館
19日	郡市地区・町村分区関係者会議（八戸会場）	八戸市福祉公民館
20日	郡市地区・町村分区関係者会議（むつ会場）	下北文化会館
12月1日～25日	NHK海外たすけあいキャンペーン	全国一斉
3日	令和2年度赤十字奉仕団指導講師臨時会議	青森県支部
	赤十字奉仕団中央委員会	青森県支部（Web）
2月1日～28日	赤十字会員増強・活動資金増強運動月間	県内一円
18日	赤十字奉仕団強化推進会議	支部
3月10日	ボランティア活動充実に向けた研究会	青森県支部（Web）
24日	オンライン語り部LIVE	青森県支部（Web）
※新型コロナウイルスの影響により中止	全国赤十字大会	東京 明治神宮会館
	郡市地区・町村分区事務担当者研修会	支部
	赤十字奉仕団基礎研修会	青森市内
	郡市地区奉仕団委員長・事務担当者会議（6地区）	各地区
	赤十字奉仕団活動推進会議（仮名）	日赤本社
	赤十字奉仕団リーダーシップ研修会	青森市内
	各地区赤十字奉仕団活動研究会（2地区）	黒石市、大間町
	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	本社

新型コロナウイルス感染症に対応したマスクの作製・寄贈などの活動について※

奉仕団名	活 動 内 容
六ヶ所村赤十字奉仕団	村から委託を受け、布マスク6,000個の作製に協力
野辺地町赤十字奉仕団	布マスク100個を作製し、野辺地町へ寄贈
五所川原市赤十字奉仕団 五所川原分団	布マスクを作製し、合計1,700個を市内小学校と社会福祉協議会へ寄贈
東北町赤十字奉仕団	布マスク280個を作製し、町内福祉施設へ寄贈
十和田市赤十字奉仕団 元町分団	奉仕団員が講師となり、町内会でマスク作製講習会を実施
つがる市赤十字奉仕団	布マスク200個を地域の中学校へ寄贈
横浜町赤十字奉仕団	布マスク130個を作製し、町内の福祉施設に寄贈
藤崎町赤十字奉仕団	布マスク150個を作製し、町内福祉施設へ寄贈
金木町赤十字奉仕団	布マスク200個を作製し、地区内の幼稚園などへ寄贈
むつ市大畑分区赤十字奉仕団	赤十字活動PR用に保管していた不織布マスク431個を地域の小中学校へ寄贈

※本内容については、令和2年5月に各市地区町村分区へ実施した「新型コロナウイルス感染防止への赤十字奉仕団の取り組みにかかるアンケート調査」より抜粋したものです。アンケート実施後も、地域の福祉施設や学校等へ寄贈を行った奉仕団が数多くみられました。



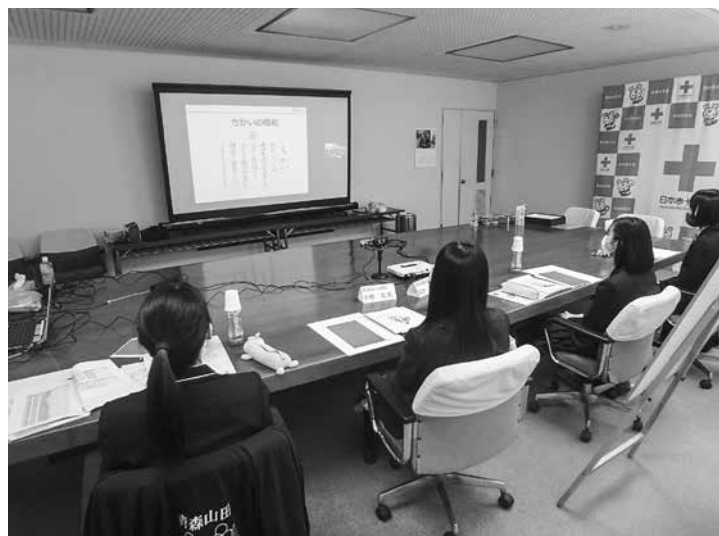
【手作りマスクを寄贈する奉仕団員】
野辺地町赤十字奉仕団（左）、東北町赤十字奉仕団（右）

5. 青少年赤十字

青少年赤十字は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解し、進んで赤十字運動に参加することを通じて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、日常生活の中で、望ましい人格と精神を自らつくりあげることが目的とした事業であり、教師等を指導者として、幼稚園・保育所（園）、小・中・高等学校、特別支援学校の中に組織され、「気づき、考え、実行する」という態度目標に基づき、学校・幼児教育の中で進められている。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、各種会議・研修会については、文書審議またはWeb会議形式へ開催形式を変更して実施した。

その他の活動については、各加盟施設・学校において、感染対策を徹底したうえで行われた。



本社主催スタディー・プログラム（Web会議方式）での様子



西目屋村で行った防災セミナーの様子

(1) 令和2年度青少年赤十字加盟登録状況

① 加盟施設・学校数

区 分	加盟校数	加盟校数内訳		学級 グループ数	登録人員数		
		継続加盟	新規加盟		男	女	計
幼稚園	29	29	0	117	937	904	1,841
保育所(園)	177	177	0	739	5,217	5,026	10,243
小学校	109	108	1	898	8,539	8,103	16,642
中学校	55	55	0	386	4,227	4,869	9,096
高等学校	52	52	0	52	389	688	1,077
特別支援学校	4	4	0	18	40	25	65
計	426	425	1	2,210	19,349	19,615	38,964

※ 指導者数 5,066

② 加盟状況

幼稚園			
継 続 加 盟	29	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	0		
統 廃 合	0		
脱退・休止	0		
保育所（園）			
継 続 加 盟	177	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	0		
統 廃 合	0		
脱退・休止	4	正津川児童館(むつ)／木の実(八戸)／白山こども園(八戸)／千草(八戸)	
小学校			
継 続 加 盟	108	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	1	桔梗野(八戸)	
統 廃 合	6	西田沢(青森)／後潟(青森)／梅沢(鶴田)／鶴田(鶴田)／富士見(鶴田)／種差(八戸)	
脱退・休止	0		
中学校			
継 続 加 盟	55	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	0		
統 廃 合	0		
脱退・休止	0		
高等学校			
継 続 加 盟	52	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	0		
統 廃 合	3	鯹ヶ沢(鯹ヶ沢)／大湊高校川内校舎(むつ)／三戸(三戸)	
脱退・休止	1	十和田工業(十和田)	
特別支援学校			
継 続 加 盟	4	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	0		
統 廃 合	0		
脱退・休止	0		

③ 令和２年度 青少年赤十字地区別加盟登録一覧

東青地区							西北五地区						
市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
青森市	1 青中短1	1 和幸	1 野内	1 北	1 青森西	1 青森第一養護	五所川原市	1 金木	1 七和	1 五所川原	1 金木	1 五所川原商業	
	2 青中短2	2 幸畑	2 高田	2 浦町	2 東奥学園	2 青森聾				2 三好	2 市浦	2 金木	
	3 青中短3	3 千富	3 荒川	3 佃	3 青森中央					3 三輪		3 五所川原	
	4 油川	4 佃	4 浪岡北	4 荒川	4 青森北					4 東峰		4 五所川原第一	
	5 東奥	5 泉川	5 浪岡南	5 東	5 明の星					5 栄			
	6 あすなろ	6 あおもりみなみこども園	6 本郷	6 西	6 青森東					6 金木			
		7 中央文化		7 戸山	7 青森					7 松島			
		8 若芽		8 浪岡	8 青森南					8 いずみ			
		9 戸山		9 筒井	9 青森工業		つがる市		1 いなほ	1 育成	1 森田	1 木造	
		10 青森東こども園			10 青森山田				2 菰槌	2 柏	2 車力		
		11 あかしや			11 浪岡				3 しげた	3 穂波			
		12 浪岡若葉こども園			12 北斗				4 もりた				
		13 しらゆり			13 青森商業				5 かしわこども園				
		14 こども園 瑞穂							6 かしわあつるこども園				
		15 合浦保					鯨ヶ沢町			1 西海	1 鯨ヶ沢		
		16 中央保								2 舞戸			
		17 浦町											
		18 青森甲田こども園											
		19 青森山田こども園					深浦町		1 みはる	1 いわさき	1 大戸瀬	1 深浦校舎	
		20 青森認定こども園							2 みよし	2 修道			
									3 えの木				
平内町	1 山彦	1 東和	1 山口				板柳町			1 板柳北			
		2 小湊	2 小湊										
		3 口広	3 東										
		4 山彦					中泊町	1 中里こども園		1 小泊		1 中里	
		5 青空											
外ヶ浜町	1 風のまちこども園			1 三厩									
							鶴田町		1 水元			1 鶴田	
今別町		1 今別こども園											
蓬田村		1 蓬田	1 蓬田	1 蓬田									
校種別計	8	27	10	11	13	2	校種別計	2	11	17	6	8	0
地区合計	71						地区合計	44					

中弘南黒地区							上十三地区						
市町村名	幼稚園	保育園 (所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園 (所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
弘前市		1 大東	1 石川 26 城西	1 石川	1 弘前中央		十和田市	1 さつき	1 ほなみ	1 藤坂		1 三本木	
		2 高杉	2 東目屋 27 青柳	2 津軽	2 東奥義塾				2 十和田めぐみ	2 松陽		2 十和田西	
		3 みどり	3 第三大成 28 岩木	3 新和	3 弘前実業				3 きく	3 下切田		3 三本木農業	
		4 ようせい	4 三省 29 自得	4 船沢	4 弘前工業				4 緑と太陽	4 高清水			
		5 やまぶき	5 ボランティア大開	5 第一	5 柴田学園				5 みきの				
		6 めぐみ	6 東	6 第二	6 弘前南								
		7 青女子	7 文京	7 第三	7 弘前		三沢市	1 いちい	1 チャリティー第1	1 三川目		1 三沢商業	
		8 大開	8 城東	8 第四	8 弘前東				2 チャリティー第2				
		9 ふじこども園	9 致遠	9 第五			野辺地町					1 野辺地	
		10 弘前すみれ	10 新和	10 裾野									
		11 こどもの城	11 小沢	11 相馬			七戸町		1 榎林こども園	1 城南		1 七戸	
		12 ひまわり	12 大和沢	12 東目屋					2 道ノ上こども園				
		13 致遠	13 豊田	13 北辰									
		14 若草	14 大成	14 南			おいらせ町		1 錦ヶ丘				
		15 城東	15 時敏						2 あゆみ				
		16 ふたば	16 朝陽						3 川口				
		17 堀越こども園	17 北						4 下田こども園				
		18 サンこども園	18 福村						5 本村こども園				
		19 石川こども園	19 子供の館						6 深沢				
		20 こどもの櫓	20 こどもの城				六戸町		1 ひのでこども	1 大曲	1 七百	1 六戸	
		21 鳥井野	21 桔梗野						2 こども園おひさま	2 開知			
		22 大浦	22 高杉				東北町						
			23 三和						1 中央ボブラ				
			24 西						2 水喰				
			25 船沢						3 ボブラ				
									4 乙供文化				
西目屋村			1 西目屋				六ヶ所村		1 泊第二	1 千歳平		1 六ヶ所	
黒石市		1 中郷こども園		1 中郷	1 黒石	1 黒石養護			2 千歳平こども園				
		2 アリス											
		3 美郷こども園											
		4 たけみ											
平川市		1 日の出こども園	1 碓ヶ関	1 平賀西	1 尾上総合								
		2 あらや		2 碓ヶ関									
		3 大坊こども園											
		4 はすね											
		5 碓ヶ関中央こども園											
		6 高城こども園											
		7 平賀あすなろ											
		8 平川中央こども園											
藤崎町			1 常盤	1 藤崎									
			2 藤崎	2 明德									
			3 藤崎中央										
大鰐町	1 おおわに文化												
田舎館村		1 田舎館こども園	1 田舎館										
校種別計	1	35	35	19	10	1	校種別計	2	23	9	1	8	0
地区合計			101				地区合計			43			

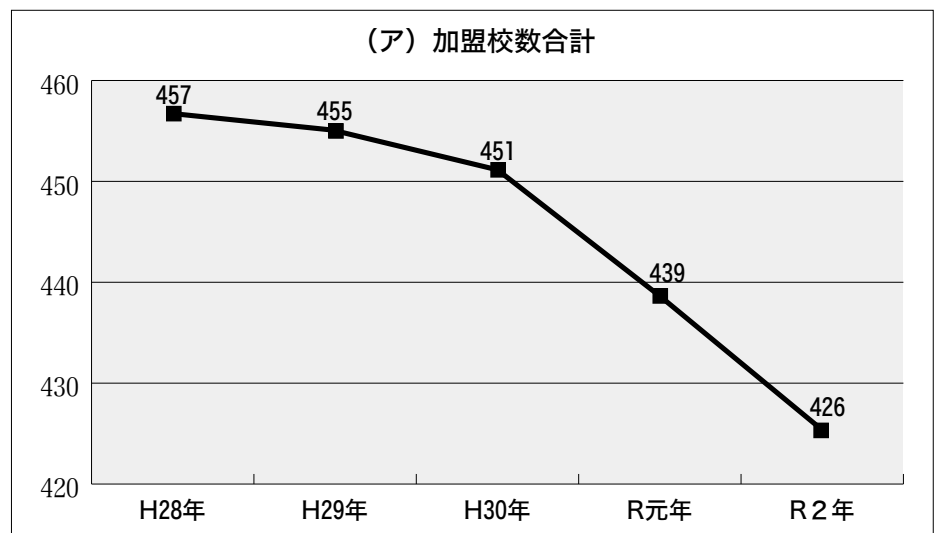
むつ下北地区							三八地区						
市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
むつ市	1 あたご	1 エビナ	1 脇野沢	1 脇野沢	1 むつ工業		八戸市	1 旭ヶ丘	1 城下	26 湊	51 さえずりの森	1 多賀	1 田小ひまわり
	2 むつひまわり	2 大畑中央	2 正津川		2 田名部			2 かもめ	2 こざくら	27 藤寛	52 江陽こども園	2 鮫	2 八戸東
	3 星美	3 柳町ひまわり	3 関根		3 大湊			3 桔梗野	3 浜市川	28 白銀台	53 旭ヶ丘	3 吹上	3 八戸西
		4 小川第二百合	4 第三田名部					4 高館	4 轟木	29 南売市	54 新井田	4 江南	4 八戸商業
		5 よしの	5 奥内					5 長者	5 さめ	30 おおくきこども園	55 小久保	5 新井田	5 八戸
		6 大平	6 大畑					6 マリアンハウス	6 桔梗野	31 ひまわり	56 日計	6 島守	6 八戸工業
		7 近川						7 八戸学院	7 すみれ	32 こどもの城	57 第二さえずりの森	7 桔梗野	7 八工大一高
		8 並木						8 第二しのめ	8 テレジア	33 白山台			8 八工大二高
		9 白百合						9 聖アンナ	9 いちのさわ	34 うぐいす			9 向陵
		10 ゆきのこ							10 岬台	35 太陽と海の子			10 八戸学院光星
		11 海の子							11 多賀台	36 下長こども園			
		12 あすなろ							12 大杉平	37 小中野			
		13 苦生ひまわり							13 中居林こども園	38 しみず			
									14 虹の丘	39 白鷗			
大間町	1 大間	1 うみの子	1 奥戸	1 奥戸					15 三条	40 類家			
		2 大間	2 大間	2 大間					16 みどりのかげエデュカレ	41 河原本中央			
東通村			1 東通	1 東通					17 関南	42 桐の葉			
風間浦村		1 風間浦							18 エンゼル子どもの家	43 明星こども園			
佐井村		1 佐井村	1 佐井	1 佐井					19 尻内	44 サンフラワー			
				2 牛滝					20 根城こども園	45 福聚			
									21 木の実園	46 むつみ			
									22 三島	47 ほうりん			
									23 すぎのこ	48 貴福			
									24 根岸	49 是川			
									25 みどりのかげウィング	50 こぼと			
							三戸町		1 ミューズ		1 杉沢	1 三戸	
											2 杉沢		
							五戸町	1 江渡	1 めぐみ		1 五戸	1 五戸	
											2 上市川	2 倉石	
											3 切谷内		
							田子町	1 田子			1 田子	1 田子	
											2 上郷		
											3 清水頭		
							南部町	1 あかね	1 チェリー		1 南部	1 南部	
									2 福地		2 剣吉	2 福地	
											3 福田	3 杉沢	
											4 向	4 名川	
											5 名久井		
											6 名川南		
											7 福地		
											8 杉沢		
							階上町		1 石鉢		1 石鉢	1 道仏	
									2 階上		2 階上	2 階上	
									3 道仏		3 赤保内		
											4 道仏		
											5 大蛇		
新郷村											6 小舟渡		
												1 野沢	
校種別計	4	17	10	6	3	0	校種別計	12	64	28	12	10	1
地区合計	40						地区合計	127					

県 計	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
令和2年度末計	29	177	109	55	52	4
総 計	426	※令和元年度末加盟校数 439 校 △ 13 校				

④ 青少年赤十字加盟登録状況の推移

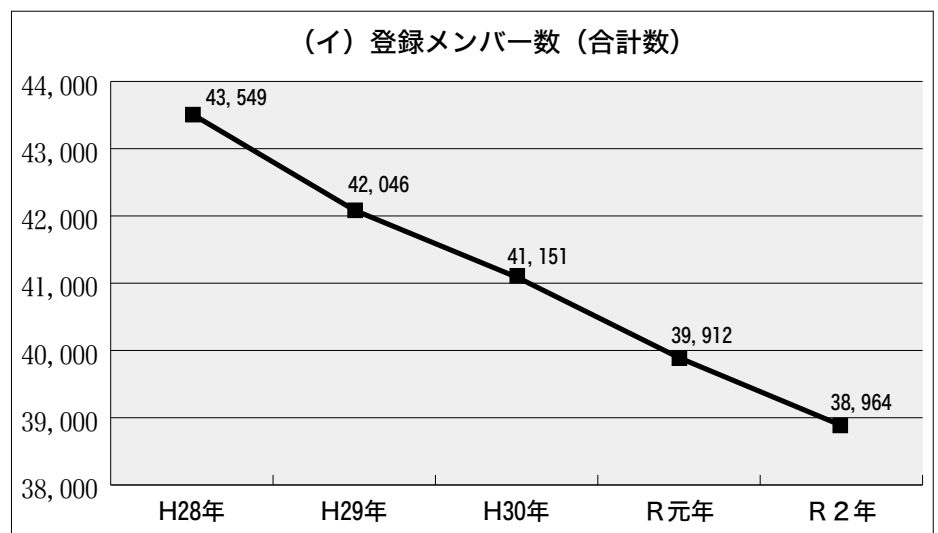
(ア) 加盟校数合計

年度	学校数
R 2 年	426
R 元年	439
H30年	451
H29年	455
H28年	457



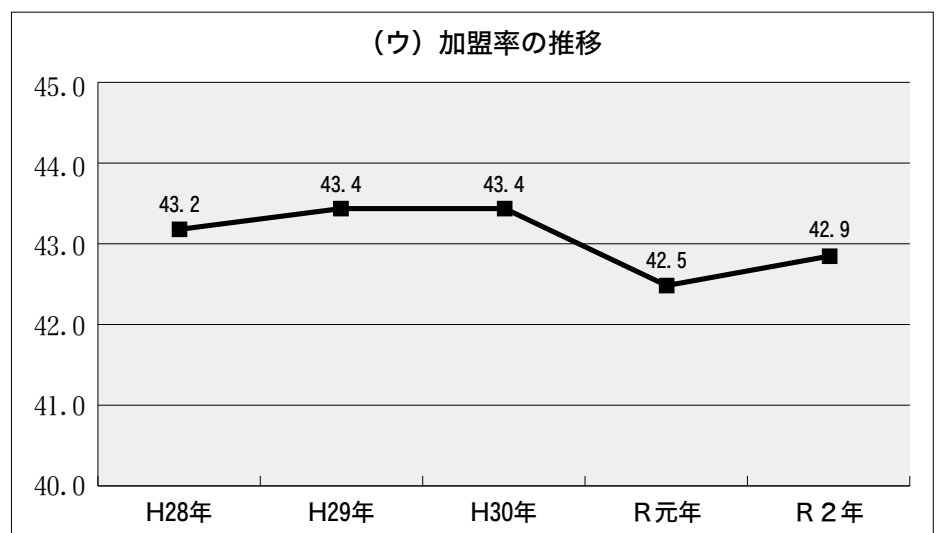
(イ) 登録メンバー数合計

年度	登録メンバー数
R 2 年	38,964
R 元年	39,912
H30年	41,151
H29年	42,046
H28年	43,549



(ウ) 加盟率の推移 ※幼保を除く

年度	加盟率
R 2 年	42.9
R 元年	42.5
H30年	43.4
H29年	43.4
H28年	43.2



(2) 青少年赤十字会議・研修会開催状況

名 称	月 日	会 場 (開催形式等)	参加者 (人)
本社 指導主事対象研究会	1月8日(金)	Web会議方式	指導主事 1
本社 国際交流事業	11月15日(日)	Web会議方式	高校メンバー10、指導者 3
本社 スタディープログラム	3月20日(土)	Web会議方式	高校メンバー 4、指導者 1
全国指導者協議会総会・研修会	9月11日(金)	Web会議方式	会長 1、賛助奉仕団委員長 1
県指導者協議会理事会・研修会	7月16日(木)	文書審議	各地区会長・副会長

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止した諸行事

- ・高校トレーニングセンター／指導者養成講習会（支部主催）
- ・高校リーダー研修会／指導者養成講習会（支部主催）
- ・青少年赤十字指導講師会議（支部主催）
- ・青森県高等学校総合文化祭青少年赤十字部門発表会（高文連主催）
- ・第1ブロック支部青少年赤十字指導者研究会（岩手県支部主催）

(3) 令和2年度青森県青少年赤十字指導者協議会役員

役 職 名	氏 名	所 属 校 (施 設)
会 長	竹 田 裕	五所川原市立いずみ小学校長
副会長(幼・保)	田 頭 正 嗣	高館幼稚園長
副 会 長 (小)	俵 藤 晶	十和田市立藤坂小学校長
副 会 長 (中)	池 田 茂	弘前市立第五中学校長
副 会 長 (高)	高 橋 英 樹	県立八戸中央高等学校長

(4) 令和2年度青少年赤十字指導講師

担当地区	氏 名	
東 青 地 区	石 村 光 也	工 藤 耕 弘
西 北 五 地 区	長 尾 孝 紀	近 藤 徹
中弘南黒地区	田 中 均	
上 十 三 地 区	丸 井 英 子	川 崎 守
むつ下北地区	沢 田 要 一	
三 八 地 区	中 村 正	
高等学校担当	瀧 本 ひろみ	

令和2年度 青森県青少年赤十字指導者協議会役員一覧

県役員	事項／地区		東 青		西 北 五		中 弘 南 黒		上 十 三		む っ 下 北		三 八	
	所 属／氏 名		氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
会長・竹田 裕 副会長・田頭 正嗣 依藤 晶	理事	会 長	大船 恵也	本郷小	竹田 裕	いずみ小	池田 茂	第五中	依藤 晶	藤坂小	二本柳 卓	佐井小	峯 香代子	吹上小
		副 会 長	鮎名 将之 菊池 信吾 齋藤 美鈴 花田 惇	あおもりみなみこども園 小湊小 青森北中 青森山田高	倉内 泰雄 三橋 一晃 葛西由起子	いなほ保 東峰小 五所川原第一高	三崎 すみ 成田 王仁 今 智人 三上浩一郎	大開保 豊田小 明徳中 弘前南高	山内 豪士 小笠原小百合 見友 健二 遠藤 剛	きく保 高清水小 七百中 三本木農業高	小野 弘子 山本 明美 祐川 達也 山崎 康浩	並木保 奥内小 奥戸中 むつ工業高	田頭 正嗣 藤田 裕司 石渡 保 平 和人 藤澤 重信	高館幼 道仏小 杉沢小 倉石中 八工大第一高
	専門委員	幼 児 部 会	小泉 隆人 蝦名 崇子 石村 康弘	幸畑保 山彦幼 しらゆり保	成田真紀子	いなほ保	下山 京子 古川 香 武田 芳子	高杉保 大坊保 ようせい保	長嶺 寿子 古田 秀子 熊野 博文 蛭澤 正雄	ひのでこども園 いちい幼 川口保 中央ポプラ保	小野 弘子 中野 正子 品木扶美子 斉藤 典子	並木保 並木保 ゆきのこ保 エビナ保	小澤 一雅 田端 良子 桃沢さやか 江渡 恵一 笹垣 昇	すみれ保 長者幼稚園 中居林こども園 めぐみ保 いちのさわ保
		小 学 校 部 会	館下 譲治 小松 達弘 出貝 幸浩	高田小 山口小 浪岡南小	三橋 豊 工藤 武英 小山内祥子 松山 伸 今 伸子 外崎 淳郎 大西 鐘一 阿部 禎子	三輪小 三輪小 五所川原小 金木小 栄小 東峰小 いずみ小 いずみ小	西川 正之 藤森 佳代 薦谷 和子	高杉小 田舎館小 豊田小	畑山ゆかり 小泉 仁一 三上菜穂子	松陽小 三川目小 開知小	山本 明美 平田あけみ 石川 依子 平田 守	奥内小 佐井小 関根小 正津川小	野呂 隆子 河原本怜奈 三橋 秀平 澤口 由紀	吹上小 江南小 五戸小 福田小
		中 学 校 部 会	横山 誠之 横山 公一 笹 弘道	筒井中 三厩中 浪岡中			石岡 卓彦 西谷 英規 角田奈央子 葛西 貴子 成田 一志	第四中 第三中 第五中 第五中 津軽中	見友 健二	七百中	祐川 達也 渡邊 一哉 田端 貴裕 新 将央	奥戸中 奥戸中 佐井中 牛滝中	佐々木 亨 工藤 靖 田中 秀幸	福地中 名川中 田子中
		高 校 部 会	平山しのぶ 川崎 陽子 張間 亮 安江 道子	青森西高 青森南高 北斗高 青森東高	小山内幹子	五所川原第一高	三上由美子 佐藤 有代 横山 尚子	弘前高 弘前南高 弘前中央高	上條 洋子 久保 晶子 菊池 亘子 玉館香奈子 小田留美子 小森 祐美	三本木農業高 三本木高 十和田西高 七戸高 六戸高 六ヶ所高	山崎 康浩 伊藤ゆずる 酒井 典子 佐藤 由記	むつ工業高 むつ工業高 大湊高川内 大湊高	天坂 美幸 小泉 美紗 相内 美羽	八戸工業高 八戸東高 千葉学園高
池田 茂 高橋 英樹(支部長推薦)	地区指導者協議会事務局	事 務 局 長	高橋 圭	本郷小	竹田 裕	いずみ小	幸山 一成	第五中	金田 睦子	藤坂小	二本柳 卓	佐井小	防村 和弘	吹上小
		局 員	高井 瑞子	本郷小	阿部 禎子	いずみ小	福士 浩一	第五中	繁田 洋一 中嶋佐知子 坂本 親子	藤坂小 藤坂小 藤坂小	平田あけみ	佐井小	佐々木 亨	福地中
		所 在	〒038-1323 青森市浪岡大字本郷字一本柳4 青森市立本郷小学校内 TEL0172(62)3052Fax0172(62)3053		〒037-0002 五所川原市大字飯詰字石田184 五所川原市立いずみ小学校内 TEL0173(37)2135TEL0173(39)7501		〒036-8103 弘前市市川先二丁目4の1 弘前市立第五中学校内 TEL0172(27)3064Fax0172(27)3074		〒034-0041 十和田市相坂字小林355-1 十和田市立藤坂小学校内 TEL0176(23)2222Fax0176(23)2473		〒039-4711 佐井村佐井字糠森103の3 佐井村立佐井小学校内 TEL0175(38)2262Fax0175(38)4455		〒031-0003 八戸市吹上一丁目14の36 八戸市立吹上小学校内 TEL0178(44)0527Fax0178(71)1379	
	地区事務局児	部 会 長	鮎名 将之	あおもりみなみこども園	倉内 泰雄	いなほ保	三崎 すみ	大開保	山内 豪士	きく保	小野 弘子	並木保	田頭 正嗣	高館幼
		事 務 局 長	鎌田 昭子	青森甲田こども園	成田真紀子	いなほ保	藤田真理子	みどり保	山内 幸子	きく保	中野 正子	並木保	原田 輝子	みどりのかぜ北ウイング
		事 務 局 員	我妻真智子	青森甲田こども園									岩崎加奈子	ミュージズ保
	地区事務局高	所 在	〒030-0855 青森市北金沢2丁目1番地6 青森甲田こども園内 TEL017(776)8680Fax017(718)3884		〒037-0104 つがる市稲垣町豊川初瀬62-6 いなり保育園内 TEL0173(46)2679Fax0173(46)2776		〒036-8188 弘前市吉野町3-3 みどり保育園内 TEL0172(32)0510Fax0172(39)7503		〒034-0088 十和田市西十四番町6-3 きく保育園内 TEL0176(23)9066Fax0176(23)9066		〒035-0046 むつ市南町9-36 並木保育園内 TEL0175(22)6500Fax0175(22)7322		〒039-1113 八戸市西白山台4-1-16 みどりのかぜ北ウイング内 TEL0178(27)3311Fax0178(27)3312	
		部 会 長	花田 惇	青森山田高	葛西由紀子	五所川原第一高	三上浩一郎	弘前南高	遠藤 剛	三本木農業高	山崎 康浩	むつ工業高	藤澤 重信	八工大第一高
		事 務 局 長	白取 静子	青森山田高	小山内幹子	五所川原第一高	佐藤 有代	弘前南高	上條 洋子	三本木農業高	伊藤ゆずる	むつ工業高	秋山 統子	八工大第一高
		局 員	葛原 香織	青森山田高									諏訪 節子	八戸西高
	指 導 講 師	所 在	〒030-8520 青森市青葉3丁目13-40 青森山田高等学校内 TEL017(739)2001Fax017(739)7535		〒037-0044 五所川原市元町42 五所川原第一高等学校内 TEL0173(34)2347TEL0173(35)7829		〒036-8247 弘前市大字大開四丁目1の1 県立弘前南高等学校内 TEL0172(88)2231Fax0172(88)2232		〒034-8578 十和田市相坂字高清水78の92 県立三本木農業高等学校内 TEL0176(23)5341Fax0176(23)2141		〒035-0082 むつ市文京町22の7 県立むつ工業高等学校内 TEL0175(24)2164Fax0175(29)2893		〒031-0822 八戸市白銀町字右岩淵通7の10 八戸工業大学第一高等学校内 TEL0178(33)5121Fax0178(34)3942	
			石村 光也 工藤 耕弘		長尾 孝紀 近藤 徹		田中 均 瀧本ひろみ (高校)		丸井 英子 川崎 守		沢田 要一		中村 正	

6. 国 際 活 動

日本赤十字社は、スイスのジュネーブにある赤十字国際委員会・赤新月社連盟を中心に世界192ヵ国の赤十字（赤新月社）と連携しながら、開発途上国の援助や飢餓・紛争や自然災害等で苦しんでいる人々に援助の手をさしのべるとともに国際親善の強化に努めている。

国際赤十字・赤新月社連盟は、大規模災害発生に備え、ERU（緊急対応ユニット）を配備しており、日本赤十字社では基礎保健型ERUを保有し、国際的な救援要請に応える準備を整えている。当支部管内ではERU要員1名を有している。

（1） 国際援助活動

NHK海外たすけあい（第38回）

窓 口 区 分		取扱件数（件）	取扱金額（円）
支 部 扱 い	支部管内取扱	105	216,997
	NHK各放送局	2	72,061
	地方銀行	27	159,297
合 計		134	448,355

（2） 国際協力事業

○救急法普及支援事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、平成16年度より救急法等の講習事業を支援しており、現在、東ティモール赤十字社とラオス赤十字社に対し、救急法指導者の派遣と併せて、両社が推進する救急法普及事業への財政的支援を行っている。

本事業期間中は、毎年、現地の救急法指導者を対象として、概ね1～2週間程度の日程で救急法指導者研修会が実施されることになっており、日本赤十字社からは、この研修会に対し、支部又は管内施設の職員及びボランティアの救急法指導員を派遣し、指導内容や、事業に対する助言を行っており、財政面のみならず技術面からも“目に見える支援”を実施している。

○青少年赤十字海外支援事業

ネパール赤十字社支援事業として、衛生分野の環境改善が急務の同国において、学校、コミュニティにおける水衛生環境の改善を目的に青少年赤十字メンバーを対象とした手洗いの重要性や簡易手洗い場の作り方の研修など様々な事業を展開している。

また、バヌアツ赤十字社支援事業として、災害に対し脆弱な同国支援のため、子どもたちの防災意識の向上、学校における災害リスクの軽減を目的に防災教育事業及びボランティアのネットワーク強化などへの支援を実施している。

◎国際協力事業に対する令和2年度の拠出額は次のとおりである。

第1ブロック各支部拠出金総額	7,000,000円
内、当支部負担額	742,000円

（3） 三沢米軍基地内アメリカ赤十字社との連携

三沢米軍基地内にあるアメリカ赤十字社三沢基地支部と連携し、相互事業への協力を行っている。

7. 社会福祉事業

(1) 青森県支部受託青森県立はまなす医療療育センター

① 概 要

児童福祉法第42条第2号及び第43条第2号に規定されている医療型障害児入所施設及び医療型児童発達支援センター並びに障害者総合支援法第5条第6項、第5条第7項及び第5条第8項に規定されている療養介護、生活介護及び短期入所の運営業務を青森県より委託を受け、また、医療法に規定する病院としての機能による小児リハビリテーションを中心に、小児整形外科疾患や障害児の小児科治療を主として行っている。

(ア)医療型障害児入所施設 肢体不自由42床 重症心身障害40床

肢体不自由児及び重症心身障害児を入所させて、保護、日常生活の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行っている。

(イ)医療型児童発達支援センター 40名

肢体不自由児及び重症心身障害児を通わせて、日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び集団生活への適応のための訓練並びに治療を行っている。地域支援として、保育所等訪問支援、障害児相談支援及び計画相談支援の事業を行っている。

(ウ)療養介護 肢体不自由42床 重症心身障害40床

障害者を入所させて、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話並びに供与を行っている。

(エ)生活介護 20名

障害者を通わせて、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供等の便宜を供与している。

(オ)短期入所（空床型）

障害者等を短期間入所させて、入浴、排せつ及び食事の介護等の便宜を供与している。

(カ)外来診療

乳幼児の運動発達診察や小児整形外科疾患の診察と治療、そして、障害児の小児診療を行っている。

(キ)療育相談

各市町村及び県南・むつ市の3保健所とともに障害児の早期発見のために、赤ちゃんの運動発達相談を行い、また、必要により在宅の障害児（者）の家庭訪問を行っている。

② 年間利用児（者）延数及び外来患者数

(ア)医療型障害児入所施設・療養介護（肢体）	延	10,423人（1日平均 28.6人）
(イ)医療型障害児入所施設・療養介護（重心）	延	10,131人（1日平均 27.8人）
(ウ)医療型児童発達支援センター	延	1,864人（1日平均 7.7人）
(エ)短期入所	延	155人（1日平均 0.4人）
(オ)生活介護	延	1,092人（1日平均 4.5人）
(カ)外来患者数	延	11,644人（1日平均 48.1人）

③ 医療社会活動

活 動 内 容	日 数	県市町村	派遣人員
療 育 相 談 (保 健 所)	日 6	2	人 6
在宅重度身体障害者訪問診査 (市 町 村)	5	4	1 3
小・中学校脊椎側彎症等運動器 学校検診 (八 戸 市)	2 1	1	2 1
合 計	3 2	7	4 0



書き初め会 令和3年1月5日



豆まき会 令和3年2月2日

8. 医 療 事 業

(1) 八戸赤十字病院

八戸赤十字病院は、赤十字の理念や赤十字思想の実践を通じ、八戸市救急医療施設病院群輪番制病院（救急告示病院）、地域医療支援病院、地域災害拠点病院として地域の救急医療、質の高い医療、災害救護に取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症に対しては、県や市、保健所等と連携しながら、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と感染症患者に対する治療確保に努め、重点医療機関の指定を受けている。また、救急患者を断らないという病院方針を堅持し、一般診療の提供も継続して行い、八戸地域保健医療圏の医療の充実・安定に努めた。

新型コロナワクチンの接種に関しては、基本型接種施設として当院とマッチングした連携型接種施設の病院とともに、自院で接種を行わない医療従事者等の接種や、集団接種の運営に主体的に関わっていくこととしており、県からのワクチン接種副反応対応専門医療機関の求めに対応している。

災害救護に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練等は中止になったが、院内での小規模な研修等は行ってきた。

経営状況については、新型コロナウイルス感染症の影響と思われる医療機関への受診控えにより患者数が大きく減少し、医業収支は前年度比でマイナスとなったが、新型コロナウイルス感染症対策の補助金や、費用の削減に努めることで収支は改善した。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される中、感染防止対策を徹底して、職員と患者の健康を守りながら、健全な経営を維持し、基本理念の実践に向けて取り組んでいかなければならないと考えている。

① 許可病床数及び入院基本料

一般病床 374床 一般病棟入院基本料 7 : 1

精神病床 60床 精神病棟入院基本料 10 : 1 計 434床

② 診療科目（標榜診療科）

消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、血液内科、精神科、神経内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

③ 年間取扱患者数

ア. 入院患者 113,274人（一日平均 310.3人 前年度比 △ 7.8人）

イ. 外来患者 149,238人（一日平均 616.7人 前年度比 △47.1人）

④ 病院における医療社会活動

一般診療の他に、年間に院内外において行った医療社会活動の状況は、次表のとおりであった。

令和2年度活動	開催日数	開催箇所数	対象者数	従事者数		
				職 員	その他	計
母 親 学 級	0	0	0	0	0	0
栄 養 相 談	242(回)	1	3,416	736	0	736
各 種 検 診	54	2	2,888	54	0	54
患 者 慰 安	0	0	0	0	0	0
健 康 生 活 支 援 講 習 会	0	0	0	0	0	0
A E D 短 期 講 習 会	0	0	0	0	0	0
訪 問 看 護	0	0	0	0	0	0
育 児 相 談	47	1	917	282	0	282
保 健 指 導	0	0	0	0	0	0

9. 血 液 事 業

青森県赤十字血液センターでは本社事業運営の基本方針に則り「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び関係法令を遵守し、採血事業者及び医薬品販売業者としての責務である血液製剤の安全性の確保・向上及び安定供給の確保並びに献血者の保護に努め確実な事業を遂行している。

令和2年度においても年間を通じ、医療機関の需要に見合った血液を安定的に確保するとともに、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、将来にわたり血液製剤を安定供給する体制に向けた対策を継続して実施してきた。10代から30代の若年層に対しては、国が策定する中期目標「献血2020」を踏まえ、全国で効果のあった具体的な増加策を取り入れる等、大学生・高校生に対して献血者の増加につながる積極的な取り組みを展開した。

令和2年度の献血受け入れ計画は県内医療機関で使用する輸血用血液の需要予測に基づき、必要とする血液製剤を過不足なく安定的に供給するため献血者数480,664人、目標量20,950.40Lと目標設定した。

これらの目標量を確保するため、当センターでは成分献血及び400mL献血の推進に主眼をおき、地方公共団体等の協力のもと、献血者の年齢層に応じた献血推進はもとより、幼少期を含めた若年層、企業や団体等を普及啓発の対象として効果的な活動や重点的な献血者募集を実施するとともに、複数回献血者の一層の増加を図り、更には健康的な高年齢層献血者の受け入れを積極的に実施した。

具体的には各種キャンペーンの展開、献血セミナーの実施、広報媒体及び学生献血ボランティア等の活用、新規事業所の開拓等を行い、コロナ禍の影響で献血会場の中止や延期が発生する中においても献血者の確保に努めた。

青森県赤十字血液センターは、血液法の理念である、より安全な血液製剤をより安定的に医療機関へ供給する体制を目指して、より一層の努力を続けていかなければならないと考えている。

令和2年度事業概要

(1) 献血状況

献血者数は48,988人で、前年度に比較すると1,322人の増となり、対前年比では102.8%となった。(令和元年度の献血者は47,666人)

献血量は21,336.9Lで、前年度に比較すると802.3Lの増となり、対前年比では104.0%となった。(令和元年度の献血量は20,534.6L)

(2) 供給状況

県内医療機関（病院等）への血液製剤供給本数は、200mL換算で188,559単位となり、前年度に比較すると5,760単位の増、対前年比では103.2%となった。(令和元年度の供給本数は182,799単位)



(3) 令和2年度 月別施設別献血状況

① 令和2年度月別施設別献血状況（4～3月）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
青森バス	2 0 0 mL	23	10	6	63	25	36	148	40	53	23	15	6	448
	4 0 0 mL	1,313	1,388	1,404	1,301	1,288	1,318	1,197	1,308	1,306	1,345	1,204	1,377	15,749
	計	1,336	1,398	1,410	1,364	1,313	1,354	1,345	1,348	1,359	1,368	1,219	1,383	16,197
	確保量(L)	530	557	563	533	520	534	508	531	533	543	485	552	6,389
	稼働日数	38	38	39	37	34	38	41	37	40	37	34	38	451
一台平均		35.2	36.8	36.2	36.9	38.6	35.6	32.8	36.4	34.0	37.0	35.9	36.4	35.9
八戸バス	2 0 0 mL	7	12	15	73	25	109	63	90	67	16	10	8	495
	4 0 0 mL	749	698	774	779	748	578	683	641	621	757	705	756	8,489
	計	756	710	789	852	773	687	746	731	688	773	715	764	8,984
	確保量(L)	301	282	313	326	304	253	286	274	262	306	284	304	3,495
	稼働日数	17	16	17	17	16	15	17	17	16	17	15	17	197
一台平均		44.5	44.4	46.4	50.1	48.3	45.8	43.9	43.0	43.0	45.5	47.7	44.9	45.6
全血バス合計	2 0 0 mL	30	22	21	136	50	145	211	130	120	39	25	14	943
	4 0 0 mL	2,062	2,086	2,178	2,080	2,036	1,896	1,880	1,949	1,927	2,102	1,909	2,133	24,238
	計	2,092	2,108	2,199	2,216	2,086	2,041	2,091	2,079	2,047	2,141	1,934	2,147	25,181
	確保量(L)	830.8	838.8	875.4	859.2	824.4	787.4	794.2	805.6	794.8	848.6	768.6	856.0	9,883.8
	稼働日数	55	54	56	54	50	53	58	54	56	54	49	55	648
一台平均		38.0	39.0	39.3	41.0	41.7	38.5	36.1	38.5	36.6	39.6	39.5	39.0	38.9
青森県立青森中央病院	2 0 0 mL	14	15	10	31	27	16	21	14	31	21	33	32	265
	4 0 0 mL	423	397	302	353	380	306	303	468	363	325	354	300	4,274
	血 漿	400	456	496	550	548	520	504	538	455	476	456	429	5,828
	血小板(分割)	146	130	63	68	78	72	64	68	64	52	60	90	955
	血小板(分割以外)	38	25	34	31	29	36	40	46	55	40	43	71	488
	計	1,021	1,023	905	1,033	1,062	950	932	1,134	968	914	946	922	11,810
	確保量(L)	492.1	496.4	443.3	498.6	512.5	465.4	453.7	541.8	460.4	440.3	449.7	444.4	5,698.6
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	28	31	363
一日平均		34.0	33.0	30.2	33.3	34.3	31.7	30.1	37.8	32.3	30.5	33.8	29.7	32.5
弘前県立弘前中央病院	2 0 0 mL	31	35	17	31	28	17	26	28	38	21	32	33	337
	4 0 0 mL	385	414	338	318	390	290	264	498	366	380	341	299	4,283
	血 漿	437	489	465	522	543	496	403	504	504	498	483	495	5,839
	血小板(分割)	132	120	55	68	74	63	58	52	46	56	50	75	849
	血小板(分割以外)	44	26	38	57	62	62	61	69	73	68	58	71	689
	計	1,029	1,084	913	996	1,097	928	812	1,151	1,027	1,023	964	973	11,997
	確保量(L)	494.8	519.5	439.6	481.8	527.2	453.2	391.1	539.7	487.2	489.7	460.0	470.8	5,754.5
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	28	31	363
一日平均		34.3	35.0	30.4	32.1	35.4	30.9	26.2	38.4	34.2	34.1	34.4	31.4	33.0
合計	目 標													0.0
	2 0 0 mL	75	72	48	198	105	178	258	172	189	81	90	79	1,545
	4 0 0 mL	2,870	2,897	2,818	2,751	2,806	2,492	2,447	2,915	2,656	2,807	2,604	2,732	32,795
	血 漿	837	945	961	1,072	1,091	1,016	907	1,042	959	974	939	924	11,667
	血小板(分割)	278	250	118	136	152	135	122	120	110	108	110	165	1,804
	血小板(分割以外)	82	51	72	88	91	98	101	115	128	108	101	142	1,177
	合 計	4,142	4,215	4,017	4,245	4,245	3,919	3,835	4,364	4,042	4,078	3,844	4,042	48,988
	確保量(L)	1,817.7	1,854.7	1,758.3	1,839.6	1,864.1	1,705.9	1,639.0	1,887.1	1,742.4	1,778.6	1,678.2	1,771.3	21,336.9
	稼働日数	115	116	116	116	112	113	120	114	116	114	105	117	1,374
	一日平均	36.0	36.3	34.6	36.6	37.9	34.7	32.0	38.3	34.8	35.8	36.6	34.5	35.7
	初回献血者数(人)	279	297	278	363	238	316	427	309	280	225	213	226	3,451
	再来献血者数(人)	3,863	3,918	3,739	3,882	4,007	3,603	3,408	4,055	3,762	3,853	3,631	3,816	45,537
	初回献血率(%)	6.7	7.0	6.9	8.6	5.6	8.1	11.1	7.1	6.9	5.5	5.5	5.6	7.0

② 年齢別献血者数推移調

区 分	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16 ～ 19 ^才	2,044 ^人	1,952 ^人	3,996 ^人	1,938 ^人	1,893 ^人	3,831 ^人	1,467 ^人	1,555 ^人	3,022 ^人
20 ～ 29	4,100	2,334	6,434	4,028	2,563	6,591	4,116	2,753	6,869
30 ～ 39	5,530	2,298	7,828	5,578	2,452	8,030	5,533	2,471	8,004
40 ～ 49	8,483	3,189	11,672	8,868	3,644	12,512	9,169	3,850	13,019
50 ～ 59	7,975	2,807	10,782	8,778	3,174	11,952	9,292	3,574	12,866
60 ～ 69	3,245	1,007	4,252	3,524	1,226	4,750	3,879	1,329	5,208
計	31,377	13,587	44,964	32,714	14,952	47,666	33,456	15,532	48,988

③ 年齢別献血者構成比率及び前年度比調

区 分	構成比率	前年比	前年増減
16 ～ 19 ^才	4.4 [%]	78.9 [%]	▲ 809 ^人
20 ～ 29	12.3	104.2	278
30 ～ 39	16.5	99.7	▲ 26
40 ～ 49	27.4	104.1	507
50 ～ 59	27.8	107.6	914
60 ～ 69	11.6	109.6	458
計	100.0	102.8	1,322

④ 職業別献血者推移調

区 分	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
公 務 員	7,629 ^人	1,334 ^人	8,963 ^人	8,032 ^人	1,570 ^人	9,602 ^人	8,645 ^人	1,778 ^人	10,423 ^人
会 社 員	16,212	4,818	21,030	16,959	5,547	22,506	17,489	5,911	23,400
高 校 生	1,257	1,282	2,539	1,233	1,269	2,502	876	1,012	1,888
その他学生	1,394	1,493	2,887	1,288	1,523	2,811	1,321	1,493	2,814
そ の 他	4,885	4,660	9,545	5,202	5,043	10,245	5,125	5,338	10,463
計	31,377	13,587	44,964	32,714	14,952	47,666	33,456	15,532	48,988

(4) 令和元年・2年度月別血液供給数

(200mL 換算)

月区分	令和元年度 県内供給数	令和2年度 県内供給数
4 月	16,449	14,981
5 月	15,659	15,961
6 月	15,739	16,972
7 月	15,307	16,521
8 月	15,317	16,109
9 月	15,522	14,845
10 月	16,060	15,666
11 月	15,090	15,938
12 月	17,773	17,389
1 月	14,866	17,461
2 月	13,712	16,010
3 月	17,065	18,413
合 計	188,559	196,266

※200mL換算とは、200mL献血から分離された赤血球を1単位、血漿を1単位(120mL)、400mLから分離された赤血球を2単位・血漿を2単位(240mL)、血漿成分献血を4単位(480mL)、血小板成分献血を5～20単位として計算したものである。



(5) 多回数献血者の表彰

◎献血回数 100回以上

<金色有功章>

市 町 村	人 数
青 森 市	25
弘 前 市	18
八 戸 市	4
平 川 市	4
黒 石 市	3
三 沢 市	3
む つ 市	3
六ヶ所村	2
十和田市	1
鶴 田 町	1
おいらせ町	1
五所川原市	1
佐 井 村	1
深 浦 町	1
西目屋村	1
大 鰐 町	1
田舎館村	1
野辺地町	1
三 戸 町	1
計	73

◎献血回数 70回以上

<銀色有功章>

市 町 村	人 数
青 森 市	34
弘 前 市	28
八 戸 市	11
五所川原市	7
三 沢 市	7
十和田市	5
七 戸 町	4
む つ 市	3
藤 崎 町	3
黒 石 市	2
つがる市	2
平 川 市	2
六ヶ所村	2
田 子 町	2
東 北 町	1
野辺地町	1
五 戸 町	1
鱒ヶ沢町	1
平 内 町	1
田舎館村	1
東 通 村	1
今 別 町	1
蓬 田 村	1
深 浦 町	1
板 柳 町	1
鶴 田 町	1
中 泊 町	1
階 上 町	1
計	126



10. 赤十字活動資金の募集状況並びに会員(社員)の現況

令和2年度の赤十字会員(社員)増強・活動資金増収運動は、「赤十字を支えるあなたの“ちから”」をスローガンに掲げ、県民に対する赤十字事業への理解浸透を図り、次のとおり展開した。

(1) 令和2年度 募集目標額

① 目標額 216,000,000円

(内訳)

地区分区目標額 202,980,000円

支部目標額 13,020,000円

② 運動の時期

令和2年2月1日から同月29日までを「運動強調月間」とし、通年募集した。

(2) 赤十字会員(社員)増強・活動資金増収運動にかかる主な強化策

○ 新しい赤十字活動資金募集の展開

口座振替やクレジットカード決済により赤十字活動資金協力を行う会員(社員)、遺産相続に伴い赤十字活動資金協力を行う遺贈の募集強化のほか、企業によるCSR(企業の社会的責任)活動の推進や法人会員(社員)への訪問募集など、新しい赤十字活動資金募集活動*の強化を図った。

*新しい赤十字活動資金募集にかかる令和2年度の実績については、(5)赤十字会員(社員)増強・活動資金増収運動の重点活動項目の推移についての⑤法人会員(社員)の確保・増進、(6)口座振替会員(社員)等の確保、(8)支部直轄扱いの推移についてを参照

(3) 令和2年度 赤十字会員(社員)増強・活動資金増収運動の状況について

① 募集実績額

令和2年度の募集実績額は前年度比1.51%の増となった。主なる増収の要因としては、日赤本社募集の赤十字活動資金(クレジットカード決済)の利用者が増加したことが挙げられる。

区 分		目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達成率 (%)
総 額		216,000,000	183,904,639	85.14
内 訳	地区分区目標額	202,980,000	144,047,648	70.97
	支 部 目 標 額	13,020,000	39,856,991	306.12

② 令和2年度 赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動の募集実績表

区分 地区・分區別		A目標額 (円)	B実績額 (円)	B/A (%)	区分 地区・分區別		A目標額 (円)	B実績額 (円)	B/A (%)
市 地 区	青 森 市	42,798,000	23,829,623	55.68	南 地 区	藤 崎 町	2,234,000	2,056,600	92.06
	旧青森市	39,987,000	21,468,792	53.69		大 鰐 町	2,013,000	1,310,400	65.10
	旧浪岡町	2,811,000	2,360,831	83.99		田 舎 館 村	1,234,000	1,580,818	128.11
	弘 前 市	25,997,000	11,737,065	45.15		計	5,481,000	4,947,818	90.27
	八 戸 市	33,941,000	20,357,963	59.98	北 地 区	鶴 田 町	2,228,000	1,908,610	85.66
	黒 石 市	5,151,000	3,026,450	58.75		中 泊 町	2,262,000	1,890,425	83.57
	五所川原市	8,561,000	5,977,873	69.83		旧中里町	1,616,000	1,133,700	70.15
	旧五所川原市	6,384,000	4,245,273	66.50		旧小泊村	646,000	756,725	117.14
	旧金木町	1,703,000	1,228,600	72.14		計	4,490,000	3,799,035	84.61
	旧市浦村	474,000	504,000	106.33	上 北 地 区	野 辺 地 町	2,363,000	1,809,450	76.57
	十 和 田 市	9,336,000	6,330,450	67.81		七 戸 町	2,674,000	2,632,755	98.46
	三 沢 市	5,761,000	3,742,492	64.96		旧七戸町	1,516,000	1,211,800	79.93
	む つ 市	9,619,000	6,797,096	70.66		旧天間林村	1,158,000	1,420,955	122.71
	旧むつ市	6,632,000	4,842,996	73.02	地 区	六 戸 町	1,401,000	1,905,600	136.02
	旧川内町	973,000	647,100	66.51		横 浜 町	822,000	832,500	101.28
	旧大畑町	1,580,000	950,500	60.16		東 北 町	2,795,000	3,155,400	112.89
	旧脇野沢	434,000	356,500	82.14		六ヶ所村	1,680,000	1,444,300	85.97
	つ が る 市	5,786,000	5,532,950	95.63		計	11,735,000	11,780,005	100.38
	平 川 市	4,886,000	6,074,381	124.32	下 北 地 区	大 間 町	1,020,000	633,100	62.07
	旧尾上町	1,339,000	1,643,231	122.72		東 通 村	1,214,000	1,109,700	91.41
	旧平賀町	3,013,000	3,999,150	132.73		風間浦村	465,000	418,500	90.00
	旧碓ヶ関村	534,000	432,000	80.90		佐 井 村	501,000	547,100	109.20
						計	3,200,000	2,708,400	84.64
					三 戸 地 区	三 戸 町	1,902,000	2,210,000	116.19
	計	151,836,000	93,406,343	61.52		五 戸 町	2,930,000	3,795,600	129.54
東 地 区	平 内 町	2,314,000	2,157,500	93.24		田 子 町	1,049,000	1,001,050	95.43
	今 別 町	764,000	702,100	91.90		南 部 町	3,161,000	3,526,450	111.56
	蓬 田 村	508,000	792,500	156.00		階 上 町	2,062,000	2,103,267	102.00
	外ヶ浜町	1,474,000	1,423,100	96.55		新 郷 村	434,000	587,000	135.25
	計	5,060,000	5,075,200	100.30		おいらせ町	2,912,000	2,856,180	98.08
西 地 区	鱒ヶ沢町	2,088,000	2,376,500	113.82	支 部 直 轄 扱	計	14,450,000	16,079,547	111.28
	深 浦 町	1,903,000	1,500,700	78.86		支部直轄扱	13,020,000	39,856,991	306.12
	計	3,991,000	3,877,200	97.15		市 計	151,836,000	93,406,343	61.52
中 地 区	西目屋村	315,000	413,000	131.11	町 村 合 計		51,144,000	50,641,305	99.02
	板 柳 町	2,422,000	1,961,100	80.97	市 町 村 合 計		202,980,000	144,047,648	70.97
	計	2,737,000	2,374,100	86.74	合 計		216,000,000	183,904,639	85.14

※日赤本社が募集を行っている口座振替等の実績は支部直轄扱に含む

③ 令和２年度 地区区分別の募集目標額達成状況

達成率区分	市地区	東地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三戸地区	合 計	前年度との比較
150%以上		蓬 田 村						1	0
140%以上 150%未満								0	0
130%以上 140%未満				西目屋村	六 戸 町		新 郷 村	3	－2
120%以上 130%未満	平 川 市			田舎館村			五 戸 町	3	2
110%以上 120%未満			鯺ヶ沢町		東 北 町		三 戸 町 南 部 町	4	1
100%以上 110%未満	五所川原市市浦 八戸市南郷				横 浜 町	佐 井 村	階 上 町	5	－3
計	3	1	1	2	3	1	5	16	－2
90%以上 100%未満	つがる市	平 内 町 今 別 町 外ヶ浜町		藤 崎 町	七 戸 町	東 通 村 風 間 浦 村	田 子 町 おいらせ町	10	1
80%以上 90%未満	青森市浪岡 むつ市脇野沢		鶴 田 町 中 泊 町	板 柳 町	六ヶ所村			6	0
70%以上 80%未満	五所川原市金木 む っ 市		深 浦 町		野 辺 地 町			4	1
60%以上 70%未満	五所川原市 十和田市 三 沢 市 むつ市川内 むつ市大畑			大 鰐 町		大 間 町		7	－2
60%未満	青 森 市 弘 前 市 八 戸 市 黒 石 市							4	2
計	14	3	3	3	3	3	2	31	2

※各市町村の達成率は、本社取扱いの口座振替分（クレジットカード含む）を除いた実績額にもとづくものである。

④ 令和2年度 赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動の募集実績額対前年度比較表

区分 地区・分區別		令和2年度		B / A 目標額 達成率	C 令和元年度 実績額(円)	B－C 対前年度 比較増減額(円)	対前年度実績率	
		A 目標額(円)	B 実績額(円)				B / C 達成率	増減率
市地区	青森市	39,987,000	21,468,792	53.69%	22,187,470	-718,678	96.76%	-3.24%
	青森市浪岡	2,811,000	2,360,831	83.99%	2,386,603	-25,772	98.92%	-1.08%
	弘前市	25,997,000	11,737,065	45.15%	12,303,064	-565,999	95.40%	-4.60%
	八戸市	33,051,000	19,392,863	58.68%	20,070,353	-677,490	96.62%	-3.38%
	八戸市南郷	890,000	965,100	108.44%	996,700	-31,600	96.83%	-3.17%
	黒石市	5,151,000	3,026,450	58.75%	3,136,200	-109,750	96.50%	-3.50%
	五所川原市	6,384,000	4,245,273	66.50%	4,310,370	-65,097	98.49%	-1.51%
	五所川原市金木	1,703,000	1,228,600	72.14%	1,252,100	-23,500	98.12%	-1.88%
	五所川原市市浦	474,000	504,000	106.33%	520,700	-16,700	96.79%	-3.21%
	十和田市	9,336,000	6,330,450	67.81%	6,483,400	-152,950	97.64%	-2.36%
	三沢市	5,761,000	3,742,492	64.96%	3,812,864	-70,372	98.15%	-1.85%
	むつ市	6,632,000	4,842,996	73.02%	4,705,705	137,291	102.92%	2.92%
	むつ市川内	973,000	647,100	66.51%	662,900	-15,800	97.62%	-2.38%
	むつ市大畑	1,580,000	950,500	60.16%	980,500	-30,000	96.94%	-3.06%
	むつ市脇野沢	434,000	356,500	82.14%	386,100	-29,600	92.33%	-7.67%
	つがる市	5,786,000	5,532,950	95.63%	5,814,700	-281,750	95.15%	-4.85%
	平川市	4,886,000	6,074,381	124.32%	6,124,034	-49,653	99.19%	-0.81%
	計	151,836,000	93,406,343	61.52%	96,133,763	-2,727,420	97.16%	-2.84%
東地区	平内町	2,314,000	2,157,500	93.24%	2,208,000	-50,500	97.71%	-2.29%
	今別町	764,000	702,100	91.90%	741,200	-39,100	94.72%	-5.28%
	蓬田村	508,000	792,500	156.00%	818,500	-26,000	96.82%	-3.18%
	外ヶ浜町	1,474,000	1,423,100	96.55%	1,451,100	-28,000	98.07%	-1.93%
	計	5,060,000	5,075,200	100.30%	5,218,800	-143,600	97.25%	-2.75%
西地区	鰺ヶ沢町	2,088,000	2,376,500	113.82%	2,126,850	249,650	111.74%	11.74%
	深浦町	1,903,000	1,500,700	78.86%	1,539,600	-38,900	97.47%	-2.53%
	計	3,991,000	3,877,200	97.15%	3,666,450	210,750	105.75%	5.75%
中地区	西目屋村	315,000	413,000	131.11%	315,000	98,000	131.11%	31.11%
	板柳町	2,422,000	1,961,100	80.97%	1,968,000	-6,900	99.65%	-0.35%
	計	2,737,000	2,374,100	86.74%	2,283,000	91,100	103.99%	3.99%
南地区	藤崎町	2,234,000	2,056,600	92.06%	2,087,400	-30,800	98.52%	-1.48%
	大鰐町	2,013,000	1,310,400	65.10%	1,367,400	-57,000	95.83%	-4.17%
	田舎館村	1,234,000	1,580,818	128.11%	1,607,381	-26,563	98.35%	-1.65%
	計	5,481,000	4,947,818	90.27%	5,062,181	-114,363	97.74%	-2.26%
北地区	鶴田町	2,228,000	1,908,610	85.66%	1,914,300	-5,690	99.70%	-0.30%
	中泊町	2,262,000	1,890,425	83.57%	1,932,110	-41,685	97.84%	-2.16%
	計	4,490,000	3,799,035	84.61%	3,846,410	-47,375	98.77%	-1.23%
上北地区	野辺地町	2,363,000	1,809,450	76.57%	1,845,000	-35,550	98.07%	-1.93%
	七戸町	2,674,000	2,632,755	98.46%	2,727,500	-94,745	96.53%	-3.47%
	六戸町	1,401,000	1,905,600	136.02%	1,936,700	-31,100	98.39%	-1.61%
	横浜町	822,000	832,500	101.28%	847,500	-15,000	98.23%	-1.77%
	東北町	2,795,000	3,155,400	112.89%	2,519,000	636,400	125.26%	25.26%
	六ヶ所村	1,680,000	1,444,300	85.97%	1,621,994	-177,694	89.04%	-10.96%
	計	11,735,000	11,780,005	100.38%	11,497,694	282,311	102.46%	2.46%
下北地区	大間町	1,020,000	633,100	62.07%	663,400	-30,300	95.43%	-4.57%
	東通村	1,214,000	1,109,700	91.41%	1,120,700	-11,000	99.02%	-0.98%
	風間浦村	465,000	418,500	90.00%	442,000	-23,500	94.68%	-5.32%
	佐井村	501,000	547,100	109.20%	518,550	28,550	105.51%	5.51%
	計	3,200,000	2,708,400	84.64%	2,744,650	-36,250	98.68%	-1.32%
三戸地区	三戸町	1,902,000	2,210,000	116.19%	2,248,000	-38,000	98.31%	-1.69%
	五戸町	2,930,000	3,795,600	129.54%	4,082,800	-287,200	92.97%	-7.03%
	田子町	1,049,000	1,001,050	95.43%	1,006,750	-5,700	99.43%	-0.57%
	南部町	3,161,000	3,526,450	111.56%	3,582,400	-55,950	98.44%	-1.56%
	階上町	2,062,000	2,103,267	102.00%	2,148,450	-45,183	97.90%	-2.10%
	新郷村	434,000	587,000	135.25%	601,000	-14,000	97.67%	-2.33%
	おいらせ町	2,912,000	2,856,180	98.08%	3,939,575	-1,083,395	72.50%	-27.50%
	計	14,450,000	16,079,547	111.28%	17,608,975	-1,529,428	91.31%	-8.69%
支 部 直 轄		13,020,000	39,856,991	306.12%	33,099,904	6,757,087	120.41%	20.41%
市 計		151,836,000	93,406,343	61.52%	96,133,763	-2,727,420	97.16%	-2.84%
町 村 合 計		51,144,000	50,641,305	99.02%	51,928,160	-1,286,855	97.52%	-2.48%
市 町 村 合 計		202,980,000	144,047,648	70.97%	148,061,923	-4,014,275	97.29%	-2.71%
合 計		216,000,000	183,904,639	85.14%	181,161,827	2,742,812	101.51%	1.51%

(4) 赤十字活動資金の推移について

募集目標額対比並びに前年度募集実績額対比の3ヵ年の推移は次のとおりである。

① 対目標額

年 度	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	目 標 額 対 比	
			増 減 額 (円)	達成率 (%)
平成30年度	216,000,000	198,874,948	▲ 17,125,052	92.07
令和元年度		181,161,827	▲ 34,838,173	83.87
令和2年度		183,904,639	▲ 32,095,361	85.14

② 対前年度実績額

年 度	実 績 額 (円)	前 年 度 対 比	
		増 減 額 (円)	増 減 率 (%)
平成30年度	198,874,948	16,840,521	9.25
令和元年度	181,161,827	▲ 17,713,121	▲ 8.91
令和2年度	183,904,639	2,742,812	1.51

(5) 赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動の重点活動項目の推移について

赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動において、当支部が定める重点活動項目の推移は次のとおりである。

① 継続納入の促進（地区・分区募集分）

年 度	A 協力者数(人)	B 新規加入(人)	C 脱退等(人)	A－B－C 継続協力(人)	前年度対比	
					増減数(人)	増減率(%)
平成30年度	196,013	6,784	13,558	175,671	▲ 20,029	▲ 10.23
令和元年度	184,805	7,205	13,179	164,421	▲ 11,250	▲ 6.40
令和2年度	189,510	7,168	12,659	169,683	5,262	3.20

② 新規会員（社員）の確保・増進（地区・分区募集分）

(単位：人)

年 度	A 新規加入	B 脱退等	増減 A－B
平成30年度	6,784	13,558	▲ 6,774
令和元年度	7,205	13,179	▲ 5,974
令和2年度	7,168	12,659	▲ 5,491

③ 会員（社員）の確保・増進（地区・分区募集分）

（単位：人）

年 度	協力会員	会 員	増 減	
			協力会員	会 員
平成30年度	193,184	2,829	49,696	▲ 69,542
令和元年度	182,392	2,413	▲ 10,792	▲ 416
令和2年度	187,201	2,309	4,809	▲ 104

④ 有功章社員の確保・増進（支部募集、地区・分区募集分）

（単位：件）

年 度	銀色有功章	金色有功章
平成30年度	22	22
令和元年度	13	14
令和2年度	16	8

⑤ 法人会員（社員）の確保・増進（支部募集、地区・分区募集分）

年 度	募集状況			募集状況	
	募集数（件）	協力法人（件）	協力率（％）	実績額（円）	増減率（％）
平成30年度	2,758	361	13.09	29,119,010	64.06
令和元年度	2,502	397	15.87	15,857,363	▲ 45.54
令和2年度	1,993	441	22.13	16,383,832	3.32

（６）口座振替会員（社員）等の確保

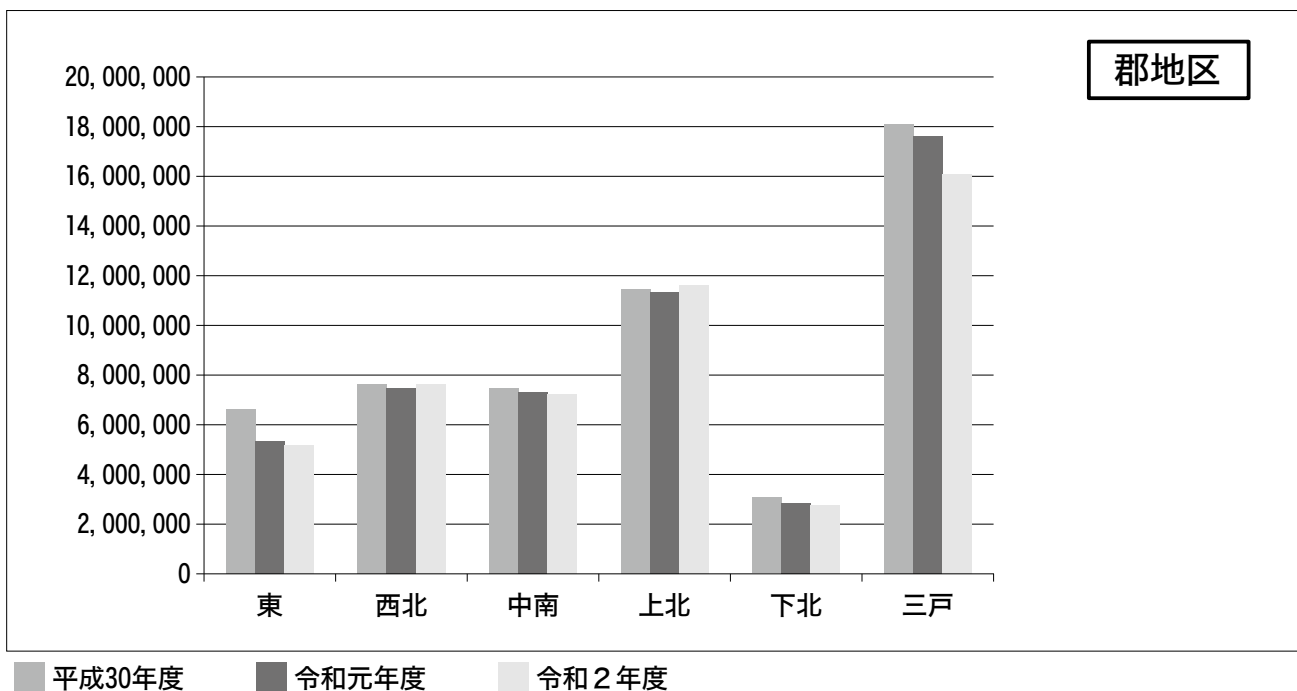
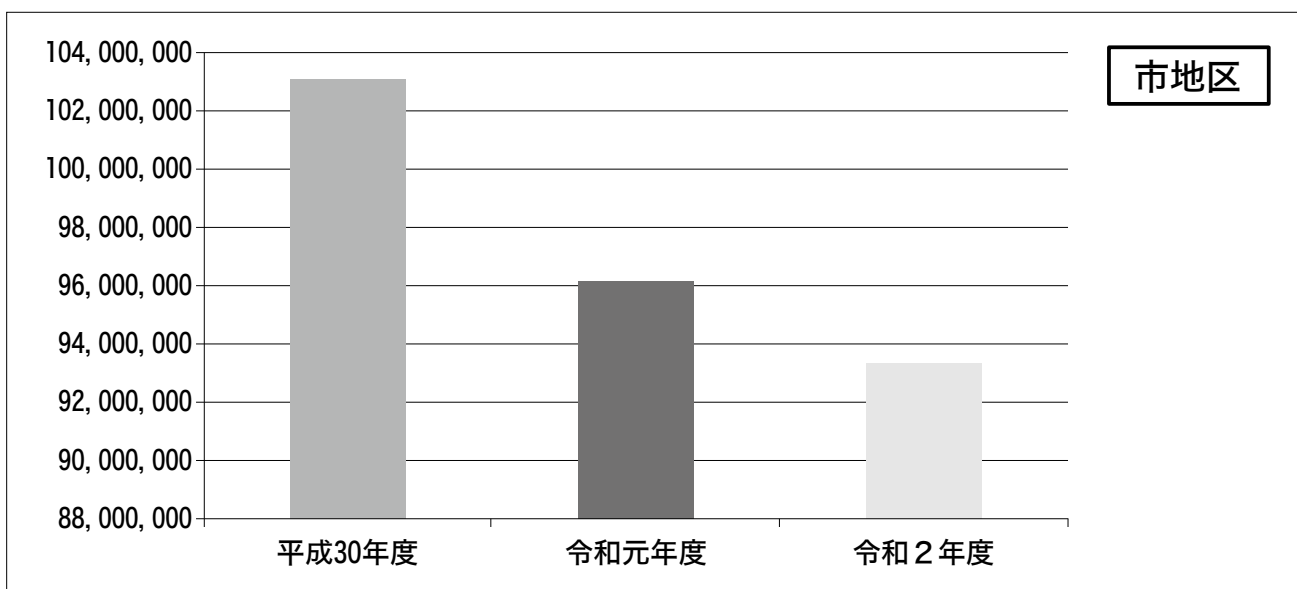
平成18年度より、日赤本社が募集を行っている「口座振替会員（社員）」等の加入状況並びに募集実績額の3ヵ年の推移は次のとおりである。

年 度	実績額（円）		件 数（件）		摘 要
		増減率（％）		増減率（％）	
平成30年度	2,543,000	8.44	485	▲ 4.53	口座引落、クレジットカード決済 ※実績額は、当該会員在住の市地区・町村 分区の実績として、事業費・事務費交付 金を郡・市地区、町村分区に交付してい るもの
令和元年度	2,550,000	0.28	535	10.31	
令和2年度	3,648,000	43.06	519	▲ 2.99	

(7) 郡市地区別の推移について

郡市地区別の募集実績額の3ヵ年の推移は次のとおりである。

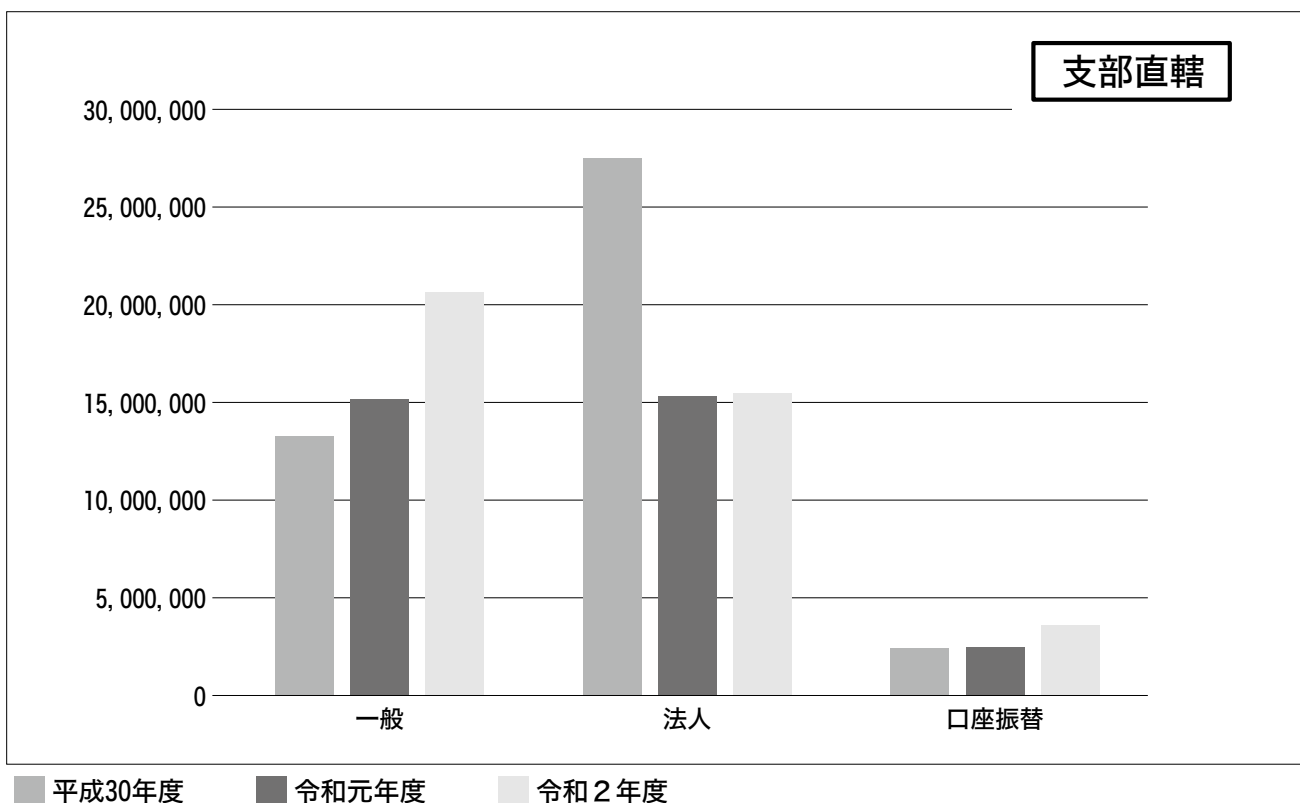
全 県	(単位：円)			
地区名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備 考
市	103,138,793	96,133,763	93,406,343	
東	6,414,400	5,218,800	5,075,200	
西 北	7,670,300	7,512,860	7,676,235	
中 南	7,521,300	7,345,181	7,321,918	
上 北	11,542,800	11,497,694	11,780,005	
下 北	2,978,450	2,744,650	2,708,400	
三 戸	18,097,450	17,608,975	16,079,547	
計	157,363,493	148,061,923	144,047,648	



(8) 支部直轄扱いの推移について

支部直轄扱いの募集実績額の3ヵ年の推移は次のとおりである。

支部直轄		(単位：円)		
区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備 考
一 般	13,892,445	15,192,541	20,632,159	
法 人	27,619,010	15,357,363	15,576,832	
口 座 振 替	2,543,000	2,550,000	3,648,000	クレジットカード決済含む
計	44,054,455	33,099,904	39,856,991	



11. 赤十字思想の普及と広報活動

(1) 全国赤十字大会

赤十字運動月間にあたり、赤十字会員の増強と赤十字思想の普及を図り、一層の社業進展を期するため、全国赤十字大会が5月20日、明治神宮会館（東京都）において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、参会者の安全を確保するため、中止となった。

(2) 赤十字活動資金功労表彰伝達式

令和2年中に、青森県支部に対して赤十字活動資金の支援を行った個人・法人に日本赤十字社並びに国の表彰制度にもとづく有功章等の伝達を行った。

期 日 令和3年3月26日（金）

場 所 青森市「ホテル青森」

伝 達 者 日本赤十字社青森県支部 支部長 三村 申吾

受章(賞)者件数 37個人・法人

表彰区分 功労区分		金色 有功章	銀色 有功章	社長 感謝状	厚生労働大臣 感謝状（※）	計
社 資 功 労	個 人	4	6	4	2	16
	法 人	3	7	11	0	21
合 計		7	13	15	2	37

（※）国の表彰



赤十字活動資金功労表彰伝達式に出席された受章（賞）者

(3) 広報活動の実施状況について

① 赤十字会員（社員）、活動資金の募集運動用資材の作成と配付

1) 広報ポスター（日赤本社作成）

作成数：48,000枚

仕様：B3、カラー印刷

活用内容：「道の駅」等市町村主要施設に掲出

2) 広報チラシ

作成数：460,000枚

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：世帯配付、「道の駅」等市町村主要施設に設置

3) 奉仕者協力依頼状（白封筒付き）

作成数：11,000枚

仕様：A4、三つ折り、2色刷り

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配付

4) 奉仕者募集の手順書

作成数：17,000枚

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配付

5) 税制上の優遇措置、赤十字の表彰と表彰種別

作成数：23,000部

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配付

6) 赤十字会員（社員）加入・寄付申込書（兼領収書控）

作成数：95,000枚（380,000人分）

仕様：B4、両面2色刷り

活用内容：赤十字会員（社員）の加入、活動資金の納付

② 資材による広報活動

1) リーフレット「赤十字の使命と活動2020」（日赤本社作成）

活用内容：個人・法人有功章社員等の募集、イベント等での配付

2) 2020広報ポスター（日赤本社作成）

活用内容：イベント等での掲出

3) 赤十字新聞「赤十字NEWS」（日赤本社作成）

発行回数：毎月発行

発行数：1回につき1,900部

活用内容：赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に配付

※2千円以上の支援を行う赤十字会員（社員）に対し、情報提供として「赤十字NEWS」4月号（日本赤十字社の令和2年度予算概要掲載号）及び9月号（日本赤十字社の令和元年度決算報告掲載号）を送付

4) 支部報「日赤あおもり」(日赤県支部作成)

発行回数：季刊発行(年4回)

発行数：1回につき1,000部

活用内容：赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に配付

③ メディア等による広報活動

1) 新聞広告の掲載

令和3年3月11日「東日本大震災から10年」企画特集で事業紹介記事の掲載と赤十字会員(社員)増強、活動資金増収運動の広告を掲載

(ア)東奥日報社 連合広告(2段1/2カラー)、記事中広告 *協賛特典

(イ)陸奥新報 編集記事下広告(2段1/2カラー)

2) マスメディア、市町村広報紙における記事の掲載

テレビ・新聞等マスメディアへの取材依頼と市町村広報紙への記事の寄稿依頼

3) ホームページの運用

赤十字事業の紹介のほか、赤十字活動資金の募集、赤十字ボランティアの加入の方法などを広報展開

④ イベントによる広報活動

1) 赤十字ふれあい推進事業の実施

地区区分が各自治体等で開催するイベントで、赤十字事業の広報展開を行った。

《令和2年度実施状況》

地区区分	事業名	実施日
外ヶ浜町	龍飛崎海岸清掃奉仕活動	7月3日
横 浜 町	横浜町産業消費拡大イベント事業	10月3日

*新型コロナウイルスの影響により中止した地区区分

地区区分	事業名	実施予定日
七 戸 町	しちのへ夏まつり	8月16日
十和田市	十和田市赤十字ふれあい推進事業	9月1日
外ヶ浜町	外ヶ浜町健康まつり・敬老会	9月22日
むつ市大畑	大畑漁港朝市	10月
横 浜 町	公民館まつり赤十字コーナー	10月24～25日
階 上 町	階上町民文化祭	10月31日～11月1日

2) 赤十字レッドライトアッププロジェクト2020

紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、アンリー・デュナンと日本赤十字社創始者の佐野常民が強く訴えた「人道」への理解を深めていただくことを目的として、レッドライトアッププロジェクト2020を実施することとしていたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

《実施予定施設名称等》

期 日：令和2年5月8日

施設名称：津軽ダム

事業所名：国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所

3) ACTION! 防災・減災

東日本大震災から10年が経つ令和3年3月11日を機に、改めて未来に向けた「防災・減災への備え」に訴求し、防災意識を高める取り組みを実施するため、関係機関と協力し、ポスター掲出や日本の防災・減災への意識を高めるTwitter施策である「#あなたの備えがみんなの備えに」キャンペーンへの投稿を呼びかけた。

期 間：令和3年3月1日～31日

協力機関：日本赤十字社青森県支部（管内施設を含む）、地区分区、地域・特別赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校（高等学校）、青森地方気象台、青森海上保安部、八戸海上保安部、NHK青森放送局など



赤十字ふれあい推進事業（横浜町）

12. 青森県赤十字有功会

青森県赤十字有功会は、昭和55年5月24日、県内在住の有功章社員の参加を求めて結成され、以来、会員相互の「親睦・奉仕」を合い言葉に「人道・博愛」を使命とする赤十字事業を支援し続け、令和2年5月、41年目を迎えた。

令和3年3月31日現在、会員数は、373名（社・団体）となっている。

（1）有功会員による仲間づくり運動の推進

会員の募集した実績		会員の寄付協力実績		合 計	
件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)
2	400,000	26	12,630,000	28	13,030,000

（2）青森県赤十字有功会会員の状況

（令和3年3月31日 現在）

市郡別	金 色 有 功 章		銀 色 有 功 章		計
	個 人	法 人	個 人	法 人	
青 森 市	4 6	3 4	2 2	6	1 0 8
弘 前 市	1 4	1 7	1 0	3	4 4
八 戸 市	2 5	3 3	1 1	3	7 2
黒 石 市	0	1	1	0	2
五 所 川 原 市	5	1	4	2	1 2
十 和 田 市	8	6	4	2	2 0
三 沢 市	2	3	5	0	1 0
む つ 市	6	4	5	0	1 5
つ が る 市	2	1	3	0	6
平 川 市	0	0	0	0	0
小 計	1 0 8	1 0 0	6 5	1 6	2 8 9
東 津 軽 郡	6	3	4	4	1 7
西 津 軽 郡	2	2	1	1	6
中 津 軽 郡	1	0	0	0	1
南 津 軽 郡	3	1	1	0	5
北 津 軽 郡	4	0	1	1	6
上 北 郡	8	6	7	3	2 4
下 北 郡	2	3	2	0	7
三 戸 郡	1 5	1	2	0	1 8
小 計	4 1	1 6	1 8	9	8 4
合 計	1 4 9	1 1 6	8 3	2 5	3 7 3

※会員総数 373 (内訳) 個人 232 名
法人 141 社

(3) 青森県赤十字有功会主要事業報告

項 目 / 概 要			
1) 有功会員による仲間づくり運動の推進			
令和2年度協力実績	28件	13,030,000円	
(内訳)			令和3年3月31日現在
新規有功章等募集	2件	400,000円	個人・法人会員数 373人・社
会員による寄付金	26件	12,630,000円	※前年度 383人・社
2) 地区赤十字有功会への活動の助成			
地区有功会活動助成金	4地区	113,800円	
(内訳)			
弘前市赤十字有功会		45,800円	
むつ市赤十字有功会		20,000円	
平内町赤十字有功会		28,000円	
蓬田村赤十字有功会		20,000円	
3) 有功会報の発行			
有功会報 第75号発行（発行日：令和3年1月）			全会員ほか関係者等へ送付
4) 各種義援金等寄託			
令和2年度義援金・救援金	2件	20,000円	
(内訳) 令和2年7月豪雨災害		10,000円	
NHK海外たすけあい		10,000円	
5) 青少年・こども赤十字活動支援			
品名：防災教育用資材 段ボールベット	3組		
6) 各種行事等			
①監査（8月27日／書面監査）			
・令和元年度事業並びに会計収支監査			
②第57回役員会（9月14日／文書審議）			
・議案審議			
令和元年度事業報告及び収支決算について			
令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について			
任期満了に伴う役員改選について			
③通常総会（10月2日／文書審議）			
・議案審議			
令和元年度事業報告及び収支決算について			
令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について			
任期満了に伴う役員改選について			
④日赤紺綬・有功会会長協議会総会（10月16日／文書審議）			開催予定地 三重県
⑤新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した事業			
・新年祝賀会員互礼会			
・研修旅行			
・地区有功会総会 ※地区有功会主催			

13. 評議員会及び監査

令和2年度における評議員会及び監査の開催状況は次のとおりである。

(1) 評議員会

① 第160回支部評議員会

開催方法 文書審議（6月30日承認）

審議議案

1. 令和元年度 日本赤十字社青森県支部 事業報告及び一般会計歳入歳出決算
2. 令和元年度 はまなす医療療育センター 事業報告及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算
3. 令和元年度 八戸赤十字病院 事業報告及び医療施設特別会計歳入歳出決算
4. 任期満了に伴う監査委員の選出

報告

令和元年度 青森県赤十字血液センター 事業報告

※任期満了に伴う副支部長の選出については、7月27日承認

② 第161回支部評議員会

開催方法 文書審議（2月24日承認）

審議議案

1. 令和3年度 日本赤十字社青森県支部 事業計画及び一般会計歳入歳出予算（案）
2. 令和3年度 はまなす医療療育センター 社会福祉施設特別会計歳入歳出予算（案）
3. 令和3年度 八戸赤十字病院 事業計画及び医療施設特別会計歳入歳出予算（案）
4. 令和2年度 日本赤十字社青森県支部 一般会計歳入歳出補正予算（案）
5. 令和2年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算（案）

報告

令和3年度 青森県赤十字血液センター事業計画（案）

(2) 監査

令和元年度決算監査

施設名	実施方法等	監査員
日本赤十字社青森県支部	書面監査	新宅監査委員 原監査委員 若佐谷監査委員
青森県赤十字血液センター	書面監査	
八戸赤十字病院	実地監査（5月26日）	
青森県立はまなす医療療育センター	書面監査	

14. 令和2年度一般会計・特別会計決算報告

(1) 一般会計

事業費目	金額 (円)
支部収入	
社資収入	183,904,639
委託金等収入	395,545
補助金及び交付金収入	3,503,870
繰入金収入	5,267,256
資産収入	12,154,793
雑収入	3,138,753
前年度繰越金	8,812,652
収入合計	217,177,508

事業費目	金額 (円)
支部費	
災害救助活動及び救護資材の整備	10,635,316
赤十字看護師の養成費	2,053,306
献血普及・管下施設の指導	32,222
救急法・健康生活支援講習等普及	1,927,379
赤十字奉仕団の普及と育成強化	3,911,633
青少年赤十字の普及と育成強化	3,337,278
社会福祉活動	19,988
国際救援活動と国際開発協力事業	742,000
地区・分区の運営	16,679,577
赤十字社員の整備と増強	11,913,254
赤十字思想の普及と広報活動	7,010,125
本社の活動推進	26,955,695
施設繰り出し・補助金	2,770,400
資金積立	0
支部の運営管理	110,888,229
支出合計	198,876,402

収入支出差引額（翌年度繰越）	18,301,106
----------------	------------

(2) 社会福祉施設特別会計

収 入 の 部	金 額 (円)
受 託 事 業 収 入	788,378,750
そ の 他 事 業 収 入	441,972
経 常 経 費 寄 附 金 収 入	1,103,500
受 取 利 息 配 当 金 収 入	8
そ の 他 の 収 入	219,898
他 会 計 繰 入 金 収 入	4,238,033
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 入	16,073,846
前 期 末 支 払 資 金 残 高	△3,159,255
収 入 合 計	807,296,752

支 出 の 部	金 額 (円)
人 件 費 支 出	608,238,816
事 業 費 支 出	92,448,805
事 務 費 支 出	71,081,518
支 払 利 息 支 出	140,545
そ の 他 の 支 出	124,970
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,343,341
他 会 計 繰 入 金 支 出	0
そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	33,304,290
支 出 合 計	807,682,285

収 入 支 出 差 引 額	△385,533
---------------	----------

※外部監査の導入に伴い、あずさ監査法人の指示で賞与引当金に対する見合いの法定福利費を計上したことにより、収入支出差引額がマイナス計上となっている。

(3) 医療施設特別会計

① 収益的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
医療収益	10,245,355,592
医療外収益	892,041,826
医療社会事業収益	0
付帯事業収益	0
特別利益	8,378,587
計	11,145,776,005
事業費目	金額 (円)
支出	
医療費用	9,892,068,523
医療外費用	36,666,516
医療奉仕費用	22,131,286
付帯事業費用	0
特別損失	10,833,033
法人税等	469,356
計	9,962,168,714
収入支出差引額	1,183,607,291

② 資本的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
固定負債	964,069,719
資産売却収入	0
その他資本収入	500,044,864
計	1,464,114,583
事業費目	金額 (円)
支出	
固定資産	982,243,711
借入金等償還	481,870,872
計	1,464,114,583
収入支出差引額	0

15. 支部役員・評議員

(1) 支部役員・本社役員

役 職 名	氏 名	公 職 等
支 部 長	三 村 申 吾	青森県知事
副 支 部 長	青 山 祐 治	青森県副知事
同	小 林 眞	八戸市長
同	工 藤 順 巳	協同組合日専連弘前会顧問
監 査 委 員	若佐谷 典 人	税理士
同	加 川 史	元つがる市商工会事務局長
同	高 橋 文 雄	元弘前市健康福祉部長
本 社 理 事	高 橋 博 美	三沢市シルバー人材センター理事長
本社代議員	高 橋 博 美	三沢市シルバー人材センター理事長
同	村 井 達	八戸赤十字病院運営審議会会長
同	木 明 昭一郎	野辺地地区保護司会会長

(2) 評議員（選出区分） ※任期：平成31年2月14日～令和4年2月13日

加 川 史（青森市地区）	田 中 武（東津軽地区）
鶴 賀 晃（青森市地区）	新 保 なり子（西北地区）
佐 藤 正 則（青森市地区）	宮 本 はる枝（西北地区）
高 橋 文 雄（弘前市地区）	前 山 誠 一（中南地区）
小 柳 紀八郎（弘前市地区）	須 藤 尚 人（中南地区）
日 沢 忠 道（八戸市地区）	木 明 昭一郎（上北地区）
荒 川 繁 信（八戸市地区）	新 館 なみゑ（上北地区）
大 橋 正 治（八戸市地区）	照 井 良 清（三戸地区）
谷 清 道（黒石市地区）	山 内 良 子（三戸地区）
小 関 光 雄（五所川原市地区）	村 井 達（支部長）
澤 橋 勇（十和田市地区）	樋 口 秀 視（支部長）
高 橋 博 美（三沢市地区）	成 田 耕 造（支部長）
高 野 敏 昭（むつ市地区）	沼 田 弘 子（支部長）
鶴 賀 善 宏（つがる市地区）	竹 田 裕（支部長）
大 里 あ さ（平川市地区）	

（定数30名 現在29名）

長期ビジョンを道標として、「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界へ。

日本赤十字社は、1877年の博愛社創設時より、国内外での戦時救護、災害救護活動をはじめ、医療事業や血液事業、社会福祉事業など、時代のニーズに応え様々な活動を展開してきました。創立から140年が経過し、人口構造の変化・グローバル化・ICT化・気候変動等が進む中で、多様で新しい人道問題も次々に生まれてきています。

こうした急速に変化する社会において、より柔軟かつ的確に人道ニーズに対応できる赤十字への変革が求められ、これまでの常識や経験、考え方にとらわれずに、新たな課題に果敢にチャレンジしていく必要があります。

この長期ビジョンを道標として、私たち一人ひとりが自らの発想と意志を持って活動に取り組み、どのような状況にあっても「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界を目指していきたい。変わりゆく未来へ、赤十字の挑戦です。

— 「日本赤十字社 長期ビジョン」全体像 —

日本赤十字社が 取り組む社会課題

- 災害や紛争から人々が守られる社会づくり
- 人々の健康・福祉を支える地域づくり
- 互いを思いやり、助け合い、尊重し合う社会づくり

目指す姿

国内外における人道支援活動の“要”となり、
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字

新たなステージへの行動指針

- 支援を受ける側に立った想像力の発揮
- 事業間・施設間の連携による相乗効果の発揮
- 先進技術を生かした事業展開
- 「選択と集中」の徹底
- 赤十字ネットワークを活用した事業推進
- 行政や関係団体、企業、大学等との連携強化
- ビッグデータ等を活用した事業推進

長 期 戦 略

— 事業戦略 —

災害や紛争時における
支援の充実とレジリエンスの強化

超少子高齢社会における
地域の健康・安全な生活の追求

多様化が進む社会における
人道の輪の拡大

— 運動基盤強化戦略 —

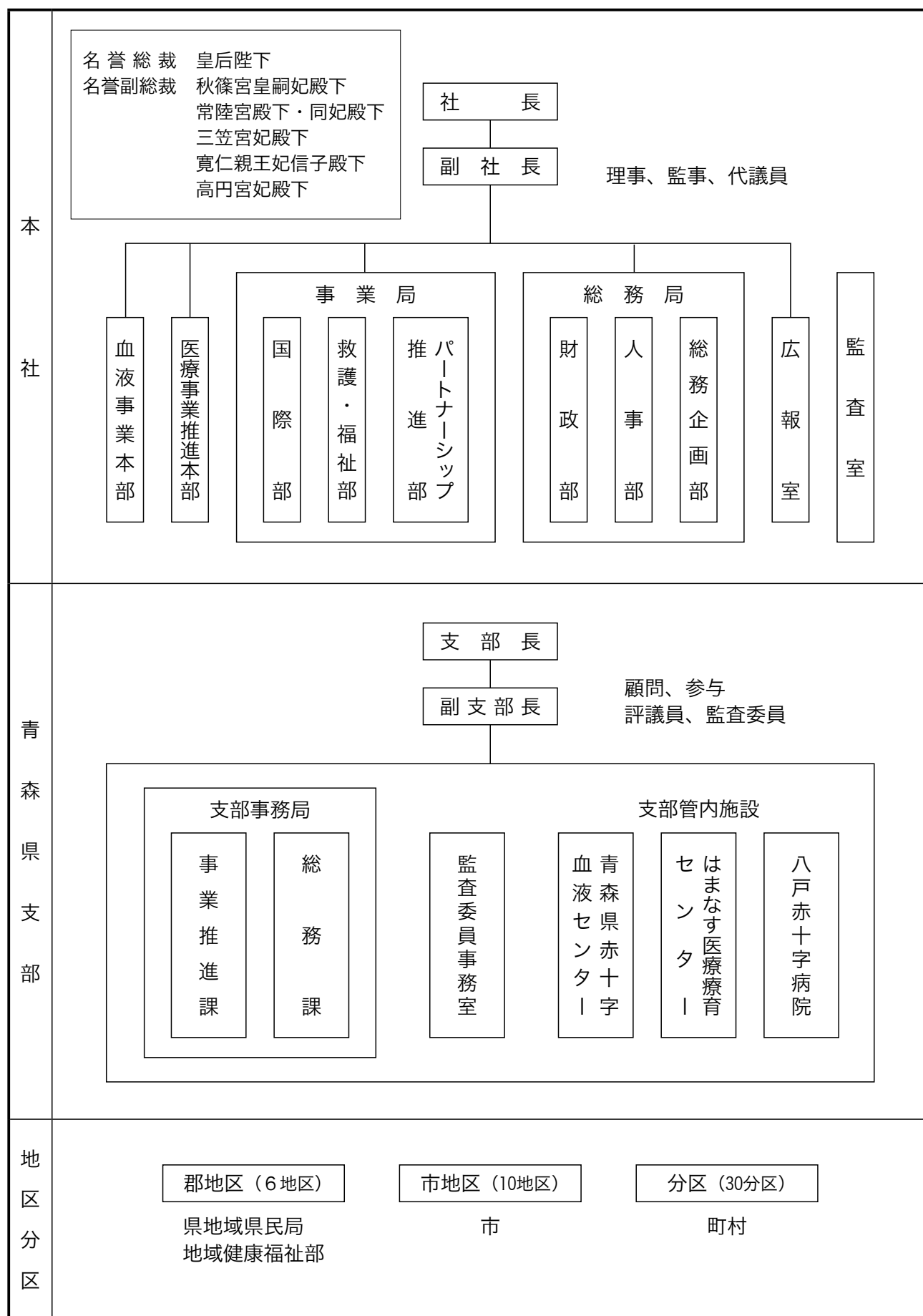
会員の赤十字運動への参画促進

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

国際赤十字との更なる協働

赤十字の組織と機構

(令和3年4月1日 現在)



日本赤十字社青森県支部現勢

1. 沿革

明治20年(1887)12月28日 日本赤十字社青森県委員部設立
明治28年(1895)12月28日 日本赤十字社青森支部に改称
昭和27年(1952)10月 日本赤十字社青森県支部に改称

2. 赤十字会員数

個人 2,977人／法人 366社

3. 評議員

29人

4. 役員

支 部 長 三村 申吾
副 支 部 長 青山 祐治、小林 眞、工藤 順巳
本 社 理 事 高橋 博美
本 社 代 議 員 高橋 博美、村井 達、木明昭一郎
支部監査委員 若佐谷典人、加川 史、高橋 文雄

5. 赤十字奉仕団

区 分	団 数	登 録 数
地 域	47団	8,473人
青 年	3団	160人
特 殊	9団	699人
合 計	59団	9,332人

6. 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	登録人数
幼稚園・保育園	206園	12,084人
小 学 校	109校	16,642人
中 学 校	55校	9,096人
高 等 学 校	52校	1,077人
特別支援学校	4校	65人
合 計	426校	38,964人

指導者数5,066人

7. 青森県赤十字有功会員

個人 232名／法人 141社・団体

8. 講習普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
救 急 法	29回	821人	87人
水 上 安 全 法	14回	401人	30人
健康生活支援講習	0回	0人	5人
幼 児 安 全 法	1回	27人	11人
合 計	44回	1,249人	133人

※指導員養成講習を除く

9. 国際活動

- ・第1ブロック支部共同事業
東ティモール救急法普及支援事業
ラオス救急法普及支援事業
ネパール青少年赤十字海外支援事業
バヌアツ青少年赤十字海外支援事業
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン

10. 災害等救護

救 護 班	8班 56名	
無 線 局	基地局 6／移動局	39
救 援 車 輜	4台	
受 付 義 援 金 (※)	200件 24,800,608円	
配 付 救 援 物 資 (※)	毛 布	209枚
	緊急セット	107個

11. 医療施設

八戸赤十字病院 病床総数 434床 (一般374床、精神60床)

総患者数 (※)		一日平均患者数 (※)	
入院患者	113,274人	入院患者	310.3人
外来患者	149,238人	外来患者	616.7人

12. 血液事業

青森県赤十字血液センター

施設数		車両台数	
血液センター	1	献 血 バ ス	4台
献血ルーム(出張所)	3	献血運搬車	15台
献血者数 (※)		供給本数 (※)	
血 漿 成 分	11,667人	全 血 製 剤	0本
血小板成分	2,981人	赤血球製剤	70,377本
400ml	32,795人	血 漿 製 剤	19,284本
200ml	1,545人	血小板製剤	106,605本
合 計	48,988人	合 計	196,266本

13. 肢体不自由児施設

青森県立はまなす医療療育センター

医療型障害児入所施設・療養介護事業		医療型児童発達支援センター	
肢体不自由	42床	障害児(通所)	40名
重症心身障害	40床		

14. 施設及び職員数

区 分	職 員 数
支 部	11人
八 戸 赤 十 字 病 院	554人
青森県赤十字血液センター	62人
はまなす医療療育センター	89人
合 計	716人

・嘱託、臨時職員等除く

15. 会計 (令和3年度当初予算)

：千円

一般会計	歳 入	歳 出
支 部	217,000	217,000
社会福祉施設特別会計	歳 入	歳 出
はまなす医療療育センター	880,915	880,915
医療事業特別会計	収益的収入	収益的支出
八 戸 赤 十 字 病 院	10,286,972	10,527,167

・血液センターは各ブロックを会計単位としているため省略。

・特に断りのない統計数字等は、令和3年4月1日現在。

※は令和2年度分。

日本赤十字社青森県支部管下施設一覧

施設名	住所	TEL・FAX
八戸赤十字病院	〒039-1104 八戸市大字田面木字中明戸2	TEL 0178-27-3111 FAX 0178-27-3121
日本赤十字社青森県支部受託 青森県立はまなす医療療育センター	〒031-0833 八戸市大字大久保字大塚17-729	TEL 0178-31-5005 FAX 0178-31-4144
青森県赤十字血液センター	〒030-0966 青森市花園2-19-11	TEL 017-741-1511 FAX 017-741-1517

令和2年度事業年報

日本赤十字社青森県支部

〒030-0861

青森市長島一丁目3番1号

TEL 017-722-2011

FAX 017-735-3502
